

Nikon

F70D
PANORAMA

A horizontal bar composed of several blue squares of varying shades, with the letters 'AF' in pink centered over it.

AF

使用説明書

J

安全上のご注意

このたびはニコンF70Dをお買い上げいただきありがとうございます。ご使用の前にこの「使用説明書」をよくお読みのうえ、十分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な内容を記載しています。

表示と意味は次のようになっています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

警告・注意の詳細につきましては、P.8～P.10をご参照ください。

絵表示の例



△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

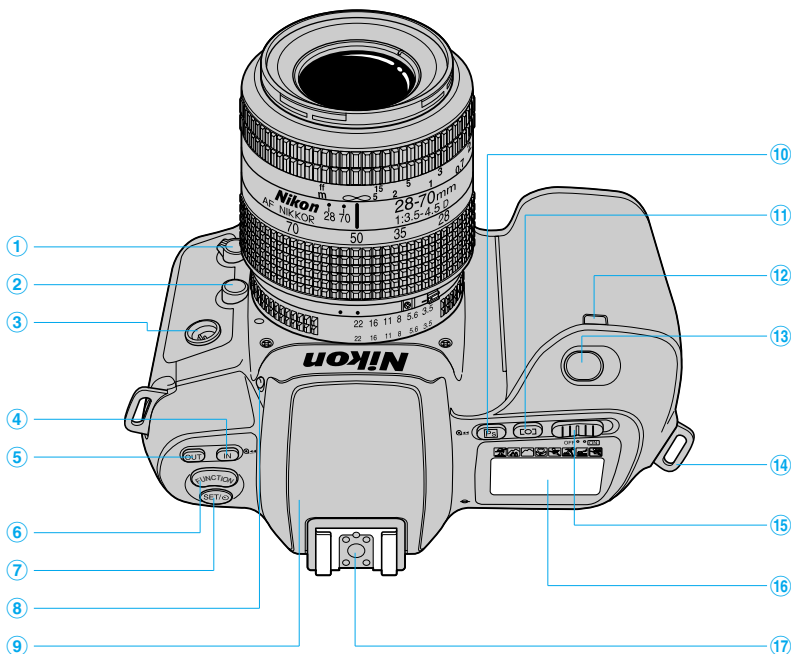
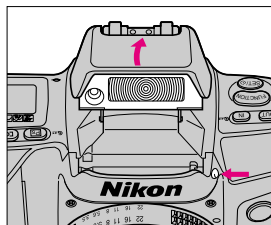


⊘記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



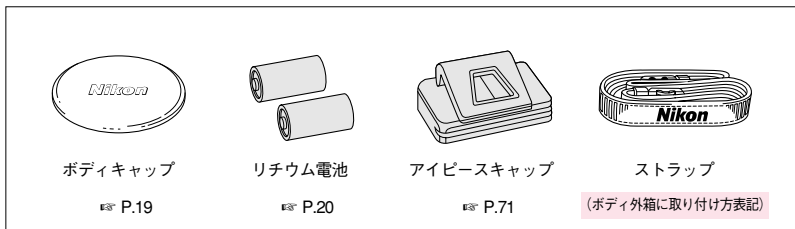
●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合は電池を取り出す）が描かれています。

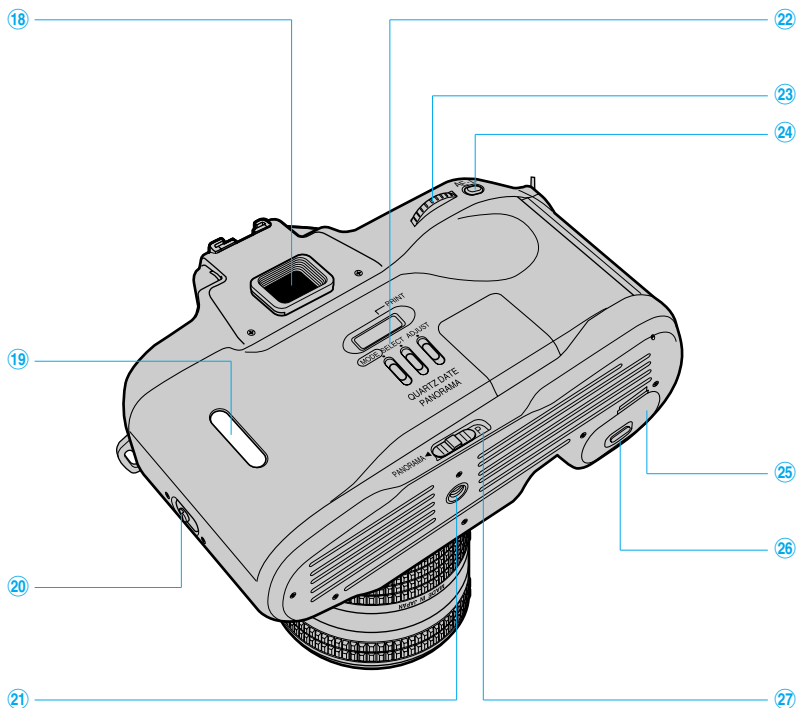
各部の名前と主なはたらき



- ① フォーカスモード切り換えダイヤル ㊦ P.42
オートフォーカス(自動)とマニュアル(手動)のピント合わせ方法が選べます。
- ② レンズ取り外しボタン ㊦ P.19
- ③ 2ピンターミナル ㊦ P.101
- ④ INボタン/フィルム巻き戻しボタン ㊦ P.16/50 ㊦ P.31
- ⑤ OUTボタン ㊦ P.16/51
- ⑥ ファンクションボタン ㊦ P.6/16
- ⑦ セットボタン/セルフタイマーボタン ㊦ P.6/16 ㊦ P.71
- ⑧ スピードライトロック解除ボタン ㊦ P.78
押すと、内蔵スピードライトが上がります。
- ⑨ 内蔵スピードライト ㊦ P.75
- ⑩ Psボタン/フィルム巻き戻しボタン ㊦ P.36 ㊦ P.31
- ⑪ フォーカスエリア切り換えボタン ㊦ P.45
- ⑫ セルフタイマー表示LED ㊦ P.71
- ⑬ シャッターボタン
シャッターボタンを軽く押して途中で止める半押し操作で露出計はたらし、AF時はピント合わせが行なわれます。さらに深く押し込むとシャッターがぎれます。
- ⑭ 吊り環
付属のストラップをここに通します(取り付け方はボディ外箱をご覧ください)。
- ⑮ 電源スイッチ ㊦ P.21
- ⑯ 外部表示パネル ㊦ P.6
- ⑰ アクセサリーシュー

付属品



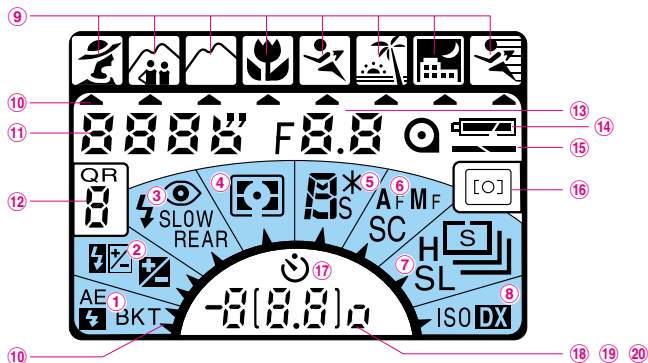


- ⑱ ファインダー接眼窓 ㊦ P.71
付属のアイピースキャップが取り付けられます。
- ⑲ フィルム確認窓
- ⑳ 裏ぶたロック解除レバー ㊦ P.26
下部にスライドさせると裏ぶたが開きます。
- ㉑ 三脚ねじ穴
- ㉒ クォーツデート ㊦ P.67
- ㉓ コマンドダイヤル ㊦ P.6/16
- ㉔ AEロックボタン ㊦ P.61
- ㉕ 電池ぶた ㊦ P.16
- ㉖ 電池ぶた開閉ノブ ㊦ P.20
- ㉗ パノラマ切り換えレバー ㊦ P.66
標準撮影とパノラマ撮影が切り換えられます。

CEマーク “CEマーキング” について

CEはヨーロッパ協定 (Conformité Européenne) の意味で、マーキングはその製品が適応されるEC規定をすべて満たしていることを表しています。

外部表示パネル

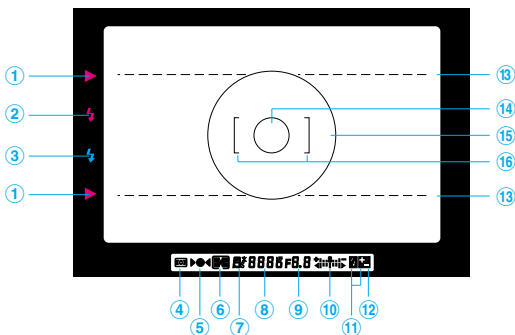


- | | |
|-------------------------------------|-----------------------|
| ① AEとSBのブラケットングエリア
☞ P.64 ☞ P.83 | ⑩ セレクト表示 ☞ P.34/36 |
| ② 露出補正と調光補正のエリア
☞ P.63 ☞ P.82 | ⑪ シャッタースピード表示 |
| ③ シンクロモードエリア ☞ P.47 | ⑫ QRナンバー表示 ☞ P.50 |
| ④ 測光モードエリア ☞ P.40 | ⑬ 絞り値表示 |
| ⑤ 露出モードエリア ☞ P.34 | ⑭ バッテリーチェック表示 ☞ P.21 |
| ⑥ フォーカスモードエリア ☞ P.42 | ⑮ フィルム在中マーク ☞ P.27 |
| ⑦ フィルム給送モードエリア ☞ P.46 | ⑯ フォーカスエリア表示 ☞ P.45 |
| ⑧ フィルム感度エリア ☞ P.24/74 | ⑰ セルフタイマーマーク ☞ P.71 |
| ⑨ イメージプログラム表示 ☞ P.36 | ⑱ フィルム感度表示 ☞ P.24/74 |
| | ⑳ フィルムカウンター ☞ P.27/31 |
| | ㉑ 露出補正值表示 ☞ P.63 |

※ ①～⑧の並んでいる扇形の部分を「ファンクションゾーン」といい、ひとつひとつの区画を各機能の「エリア」といいます。
各エリアの機能は、ファンクションボタンを押しながらコマンドダイヤルを回してセレクト表示を希望するエリアに合わせ、エリア内の表示を点滅表示させると選択できます。
選択した機能は、セットボタンを押しながらコマンドダイヤルを回して点灯表示させると設定できます。

ファインダー内と外部表示パネルの液晶には次のような特性があります。

高温下では、液晶表示が黒くなる場合があります。また、低温下では、液晶の応答速度が多少遅くなったりすることがあります。いずれの場合も常温時には正常に戻ります。



- | | |
|--|---|
| <p>① パノラマ表示 参照 P.66
パノラマ撮影時に点灯します。</p> <p>② レディライト 参照 P.76
スピードライト使用時、充電が完了すると点灯し、フル発光時は点滅して知らせます。</p> <p>③ スピードライト推奨マーク 参照 P.76
スピードライト撮影が効果的な場合に点灯して知らせます。</p> <p>④ フォーカスエリア表示 参照 P.45</p> <p>⑤ ピント表示 参照 P.43
被写体にピントが合うと●が点灯します。予測駆動フォーカス中には▶ ◀が表示されます(いずれの場合も撮影できます)。</p> <p>⑥ 測光モード表示 参照 P.40</p> <p>⑦ 露出モード表示 参照 P.34
/プログラムシフトマーク 参照 P.62</p> | <p>⑧ シャッタースピード表示</p> <p>⑨ 絞り値表示</p> <p>⑩ 露出インジケーター 参照 P.57/64/84</p> <p>⑪ 調光補正マーク 参照 P.82/84
調光補正が設定してあるとき点灯し、SBブラケットング時は点滅します。</p> <p>⑫ 露出補正マーク 参照 P.63/64
露出補正が設定してあるとき点灯し、AEブラケットング時は点滅します。</p> <p>⑬ パノラマ撮影範囲フレーム
パノラマ撮影時には、このフレームの枠内で構図を決めてください。</p> <p>⑭ スポット測光エリア/
スポットフォーカスフレーム (φ3mm)</p> <p>⑮ 中央部重点測光エリア (φ12mm)</p> <p>⑯ ワイドフォーカスフレーム</p> |
|--|---|

[イルミネーターの照明について]

ファインダー内のイルミネーターは、下記の操作により点灯します。

- 電源スイッチをONにしたとき
- シャッターボタンを半押ししたとき
…イルミネーターは、被写体が明るくなるにつれて自動的に明るくなり、半押しタイマーがOFFになったとき、または電源スイッチがOFFになったとき消灯します。

警告



分解禁止



分解したり修理・改造をしないこと

感電したり、異常動作をしてケガをすることがあります。



接触禁止



すぐに修理依頼を



落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをすることがあります。電池を抜いて、販売店または当社サービス機関に修理を依頼してください。



電池を取る



分解禁止



発熱、発煙、焦げ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと

そのまま使用すると火災、火傷の原因となります。電池を取り出す際、火傷に充分注意すること。電池を抜いて、販売店または当社サービス機関に修理を依頼してください。



水かけ禁止



水につけたり水をかけたりしないこと

発火したり感電することがあります。



使用禁止



可燃性ガスの雰囲気中で使用しないこと

爆発、火災の原因になることがあります。

警告



禁止



ストラップが首に巻き付かないようにすること 特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと

首に巻き付いて窒息することがあります。



見ないこと



レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと

失明や視力障害になることがあります。

注意



発光禁止



目の近くでスピードライトを発光しないこと

一時的な視力障害になることがあります。



感電注意



ぬれた手で操作しないこと

感電の原因となります。



放置禁止



製品および付属品は、幼児の手の届かない所に保管すること

ケガをしたり付属品や電池を飲み込む恐れがあります。

⚠ 注 意



保管注意



使用しないときは、レンズにキャップをつけるか太陽光のあたらない所に保管すること

太陽光がレンズに入射し、発火の原因となります。



移動禁止



三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しないこと

転倒したりぶつかけたりしてケガの原因となります。



禁 止



電池を火に入れたり、ショート、分解、加熱をしないこと

破裂、発火の原因となります。



使用注意



電池に表示された警告・注意を守ること

破裂、発火の原因となります。



使用注意

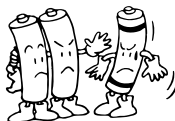


使用説明書に表示された電池を使用すること

発熱、発火の原因となります。



禁 止



新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池をまぜて使わないこと

破裂、発火の原因となります。

ご確認ください

■保証書とご愛用者カードについて

この製品には、保証書とご愛用者カードがついていますのでご確認ください。

…保証書の詳細につきましては、P.106の「アフターサービスと保証について」をご覧ください。

…ご愛用者カードを、ご記入の上ご返送くださいますと、カメラの基礎知識、撮影方法、撮影の楽しさなどを紹介しました写真を撮るための手引書「ニコン・ナイスショット」または著名な写真家による、ニコン機材で撮影した写真集「ニコン・ビュー」のうち、ご希望のいずれか一冊をお届けいたします。

■使用説明書の再発行は当社サービス機関へ

使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、裏面の当社サービス機関にて新しい使用説明書をお求めください（有料）。

■撮影の前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをして、カメラが正常に機能するかを事前に確認してください。

…本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用及び利益喪失等に関する損害）についての補償はご容赦願います。

■定期的に点検サービスを受けてください

カメラは精密機械ですので、1～2年に1度は定期点検を、3～5年に1度はオーバーホールされることをおすすめします（有料）。

…特に業務用にご使用になる場合は、早めに点検整備を受けてください。

…点検整備を依頼される際は、より安心してご愛用いただけるよう一緒にお使いのレンズ、スピードライト等も併せて点検依頼されることをおすすめします。

■本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のレンズ及びスピードライトなどのアクセサリに適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでご使用ください。

…他社製品との組み合わせ使用により、事故、故障などが起こることもございます。

“すぐに撮影したい方は”

別紙の「すぐに撮影したいときには」をご覧ください。このカメラでもっとも簡単にできる撮影方法が説明してあります。

別紙の裏面にはニコンF70Dの概要を簡略に紹介してあります。本書を読むための補助として、ご利用ください。

“本文の構成”

本文は、カメラを操作していく順序に従いながら、やさしい操作から応用テクニックへと順を追って下記のように構成されています。

撮影前の準備	撮影に入る前の準備として、電池やフィルムの入れ方などを説明しています。	☞ P.17
簡単な撮影	カメラを初めてお使いになる方にも簡単に行える撮影方法を説明しています。	☞ P.28
基本的な使い方	カメラの基本的な機能を紹介し、それぞれの設定方法を説明しています。	☞ P.33
応用的な使い方	「基本的な使い方」から一步踏み込んだいろいろな撮影方法や、補助的な機能の使用法などを説明しています。	☞ P.53
内蔵スピードライトを使って撮影する	内蔵スピードライトを使ったいろいろな撮影方法を説明しています。	☞ P.75
参 考	故障かな？と思った場合の対処方法など、ひととおり目を通しておいていただくと参考になることを説明しています。	☞ P.91

表記上のおことわり

☞ P.00 ……参照ページが書いてあります。

目次

安全上のご注意 (表示について/絵表示の例)	2
各部の名前と主なはたらき	3~5
外部表示パネル	6
ファインダー内表示	7
安全上のご注意 (警告/注意)	8~10
ご確認ください	12
説明書の使い方と構成	13
目次	14・15
操作ボタンとコマンドダイヤルの使い方	16
撮影前の準備	17~27
レンズの付け方・外し方	18・19
電池の入れ方	20
電池容量のチェック方法	21
シャッターボタンの押し方・カメラの構え方	22・23
フィルム感度の設定方法	24・25
フィルムの入れ方	26・27
簡単な撮影	28~32
簡単な撮影	29~32
フィルムの巻き戻し方	31
基本的な使い方【設定状態を確かめて上手に活用する】	33~52
露出モードの選択	34・35
マルチプログラムオート/シャッター優先オート/絞り優先オート/マニュアル	34・35
イメージプログラムの選択	36~39
測光モードの選択	40・41
マルチパターン測光/中央部重点測光/スポット測光	41
フォーカスモードの選択	42~44
シングルAFサーボモード/コンティニュアスAFサーボモード/マニュアル	43・44
フォーカスエリアの選択	45
ワイドフォーカスエリア/スポットフォーカスエリア	45
フィルム給送モードの選択	46
1コマ巻き上げ/低速連続巻き上げ/高速連続巻き上げ/サイレントモード	46
シンクロモードの選択	47~49
先幕シンクロ/赤目軽減発光/赤目軽減スローシンクロ/	48・49
スローシンクロ/後幕シンクロ	
各種機能の好みの設定状態を一括して呼出す [QR (クイックリセット) 機能]	50~52

応用的な使い方	53~74
各露出モードによる撮影	54~57
イメージプログラムによる撮影	58
露出関連の警告表示	59
フォーカスロック撮影	60
AEロック撮影	61
プログラムシフト撮影	62
露出補正	63
AEブラケティング	64・65
パノラマ撮影	66
日付や時刻の写し込み [クォーツデート]	67~70
セルフタイマー撮影	71
フィルム面の位置を確認するには	72
長時間露出 [バルブ] 撮影	73
DXマーク付きでないフィルムの感度設定	74
内蔵スピードライト撮影	75~90
こんなスピードライト撮影ができます	76・77
内蔵スピードライト撮影	78~87
使用可能な別売りスピードライトと可能な撮影	88
別売りスピードライト使用時の主な注意事項	89・90
参 考	91~125
カメラの手入れと取り扱いについて	92~94
電池の取り扱いについて	95
オートフォーカスでピントが合わないときは	96
別売りアクセサリ	97
F70Dに使用できるレンズ	98・99
プログラム線図	100
リモートコードの接続 (2ピンターミナル)	101
故障かな?と思ったら	102~105
アフターサービスと保証について	106
用語解説	107~113
索引	114~119
仕様	120~125

操作ボタンとコマンドダイヤルの使い方

このカメラの露出モードや測光モードなどの設定を変えたり、新たに設定したりするときには、「該当するボタンを押しながらコマンドダイヤルをまわす」という動作が基本となります。

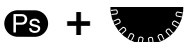
この使用説明書の本文中では、「操作ボタン」「コマンドダイヤル」を以下のように表記します。

■コマンドダイヤルは次のように表記します。



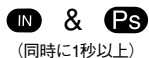
■操作ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回す場合は、次のように表記します。

【例】Psボタンを押しながらコマンドダイヤルを回す場合



■2つの操作ボタンを同時に使う場合は、次のように表記します。

【例】INボタンとPsボタンを同時に押す場合



■各操作ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回す操作で、下記の機能が設定できます。

イメージプログラムの設定 ※ P.36

Ps +

フォーカスエリアの設定 ※ P.45

[O] +

ファンクションゾーン ※ P.6
機能の選択

FUNCTION +

機能の設定

SET/☉ +

QR機能 ※ P.50
クイックリセットの記憶

IN +

クイックリセットの呼出

OUT +

セルフタイマーの設定 ※ P.71

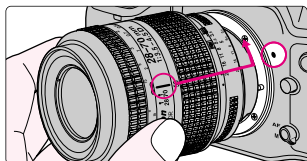
SET/☉ +

撮影前の準備

撮影に入る前に準備していただきたいことが
書かれています。

レンズの付け方・外し方

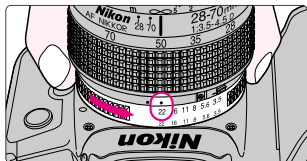
レンズの付け方



…カメラとレンズの指標を合わせて、レンズをカチッと音がするまで矢印方向にゆっくり回します。

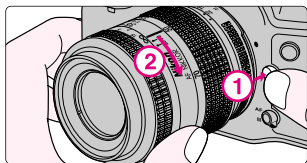
- レンズの着脱は電源スイッチをOFFにして、直射日光を避けて行ってください。
- レンズを取り付ける際には、レンズ取り外しボタンを押さないでください。

レンズの最小絞りについて



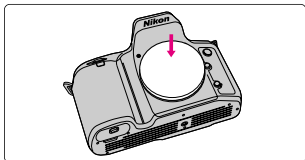
…絞りリングの「最も大きい数値の絞り値」を最小絞りといいます。
…露出モードがP、P_s、Sのときに、レンズの絞りリングが最小絞りにセットされていないと、ファインダー内と外部表示パネルに“FE”表示が点滅し、シャッターがきれません。

レンズの外し方



…レンズ取り外しボタンを押しながら、レンズを矢印方向に回して外します。

カメラからレンズを長時間外しておく場合は



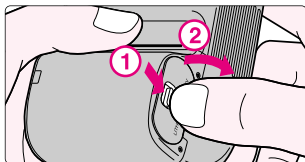
付属のボディキャップ、または別売りのボディキャップBF-1Aの装着をおすすめします
(旧タイプのボディキャップBF-1は装着できません)。

電池の入れ方

このカメラには、リチウム電池 (CR123Aタイプ) 2本を使用します。

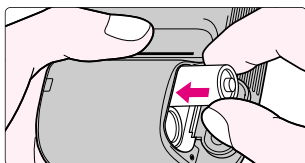
撮影場所 (特に海外の地域) によっては入手がむずかしい場合がありますので、予備の電池の携行をおすすめします。

- 1 電源スイッチをOFFにして、
電池ぶたを開けます。



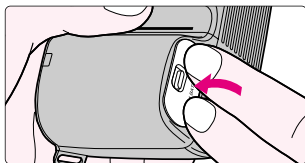
- 2 電池ぶたの⊕⊖指示に従って電池を入れます。

…⊕⊖を間違えますと、故障の原因となる場合があります。



- 3 電池ぶたを確実に閉じます。

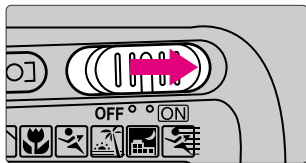
電池の取り扱いについては P.95



新たに電池を入れたときや撮影の前などには、必ず電池容量をチェックしてください。

1 電源スイッチをONにします。

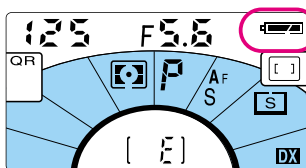
…電源スイッチをONにすると、ファインダー内や外部表示パネルに表示が点灯します。



2 バッテリーチェック表示を確認します。

…バッテリーチェック表示の内容

- (点灯)：電池の容量は充分です。
- (点滅)：電池容量はわずかです。予備の電池を準備してください。
- (点滅)：電池を交換してください(シャッターはきれなくなります)。



バッテリーチェック表示は、シャッターをきった直後にシャッターボタンから指を離れたときは、約2秒後(スピードライト使用時は約8秒後)に消灯します。

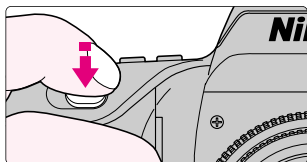
※電池容量が極端に低下した場合や低温時には、“Err”表示と“”表示が点滅して警告することがあります。この場合は電池を交換してください。

電池交換の際は、P.95「電池の取り扱いについて」の注意事項を必ず守ってください。

シャッターボタンの押し方、カメラの構え方

このカメラのシャッターボタンの作動は、二段階になっています。
シャッターボタンを軽く押し途中で止めることを「半押し」と呼びます。
半押し状態からさらに深く押し込むと、シャッターがきれて撮影が行われます。

シャッターボタンを半押しすると



…半押しタイマーがはたらいてファインダー内と外部表示パネルに表示が点灯し、オートフォーカス機構が作動し始めます。なお、半押し後シャッターボタンから指を離しても約8秒間は表示がされ続けます。

ファインダー内の主な表示

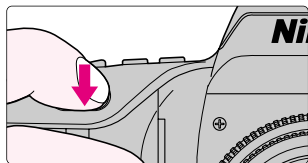
表 示	表示の内容	参照ページ
● 点灯	被写体にピントが合うと点灯します (撮影できます)。	☞ P.43
▶ ◀ 点灯	予測駆動フォーカス中に表示されます (撮影できます)。	☞ P.43
▶ ◀ 点滅	オートフォーカスでピント合わせができないときに点滅します。	☞ P.43
🟩 緑色に点灯	スピードライト撮影をすすめるときに点灯します。	☞ P.76

☞ の場合、フォーカスモードがA-F-Sのときはシャッターがきれなくなります。

※上記以外の表示については ☞ P.30/102~105

シャッターボタンの押し方、カメラの構え方

シャッターボタンはゆっくり押しましょう。



…シャッターボタンを急に押し込むと手ブレの原因となります。
必ず半押ししてから、ゆっくりと押し込むようにしてください。

カメラの構え方



…シャッターをきるときにカメラが動くと、全体がブレた手ブレ写真になります。
片足を軽く踏み出して、カメラは上半身を安定させて構えましょう。

- 右手で、カメラのグリップを包みこむように持ちます。
- わきを締め、ひじは軽く体につけます。
- 左手はレンズを支えるように、軽く添えます。

手ブレ警告について

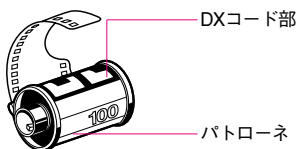
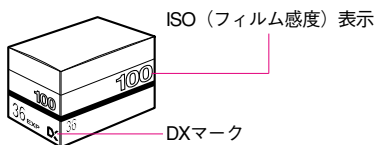
シャッタースピードが遅くなる暗い場所での撮影シーン等では、手ブレが発生しやすくなります。

このカメラの露出モードがP・P_s・Aモードに設定されているときに、シャッタースピードが1/50秒以下になる撮影シーンになると、ファインダー内にシャッタースピードを点滅させて、手ブレを警告します。

…手ブレ警告時には、カメラの構え方やシャッターボタンの押し方に注意して撮影する、三脚を使用する、スピードライトを使用するなどをおすすめします。

フィルム感度の設定方法

DXマーク付フィルムを使用すると、フィルム感度はカメラが自動的に設定します。



…自動設定可能なフィルム感度は、ISO25～5000です。

…DXマーク付以外のフィルムをご使用の場合は P.74

DXマーク付きフィルムをご使用の場合

1 フィルム感度をDXにします。

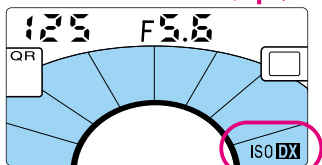
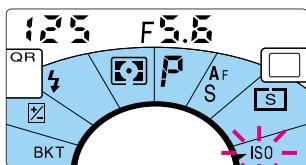


…セレクト表示をフィルム感度エリアに合わせ、エリア内の表示を点滅させます。



…“DX”を点灯させます。

…“DX”はISO6とISO6400の間に表示されます。

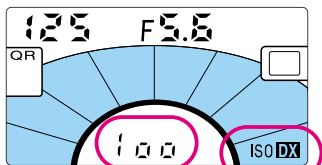


2 DX表示を確認します。

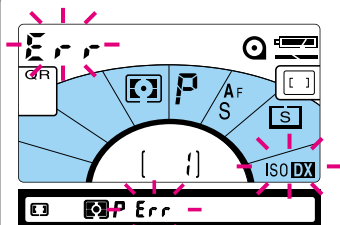
…DXフィルムが入っているときに“DX”を表示させると、フィルム感度は自動的にセットされます。

…フィルム感度を確認する場合は、設定時と同操作でフィルム感度エリアにセレクト表示を点灯させた後、SET/☉ ボタンを押してください。

…DXマーク付きフィルムを使用して、撮影者自身がP.74の方法でフィルム感度を手動で設定した場合は、撮影者自身が手動で設定したISO値でカメラが作動します。



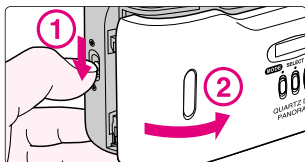
DXエラー警告表示



フィルム感度を“DX”に設定して、DXマーク付以外のフィルムが装てんされている場合は、シャッターボタンを半押ししたときに上の表示が点滅して警告します。手動でフィルム感度を設定してください。 参照 P.74

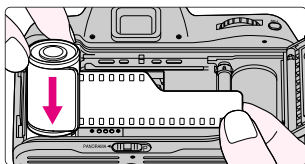
フィルムの入れ方

1 裏ぶたを開けます。



2 フィルムを入れます。

…フィルムパトローネを、イラストのように斜めに傾けて、上側から入れます。



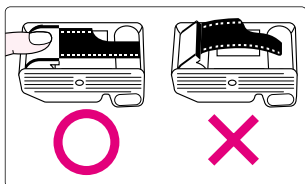
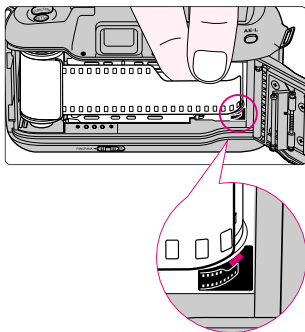
フィルムの出し入れの際のご注意

シャッター幕は非常に薄い幕でできています。フィルムの出し入れの際に、指先やフィルムの先端がシャッター幕に触れないように注意してください。

3 フィルムの先端を、カメラの赤色マークに合わせます。

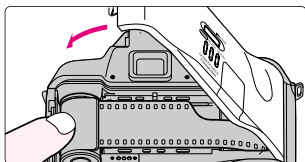
…フィルムが浮き上がらないようにフィルムパトローネを押さえて、フィルムの先端を赤色マークに合わせます。

…フィルムの穴と歯車（スプロケット）が噛み合っていることを確認してください。



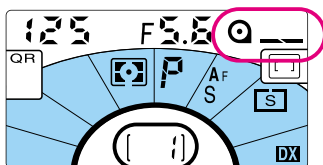
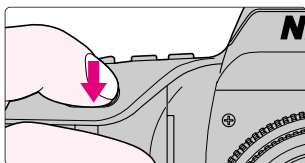
4 裏ぶたを静かに閉じます。

…パチンと音がするまで裏ぶたをゆっくりと押しつけてください。

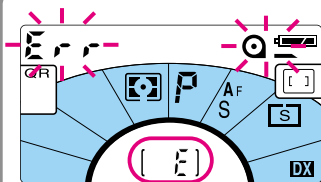


5 シャッターボタンを押してフィルムの空送りをします。

…この操作で外部表示パネルに右の表示が点灯すれば、空送りは完了です。



フィルムが正しく送られていない場合



外部表示パネルに上記の表示が点滅している場合は、フィルムが正しく送られていません。

フィルムを取り出して入れ直してください。

簡単な撮影

マルチプログラムオートによる
簡単な撮影方法を説明しています。

下記の状態を基準に説明しています。

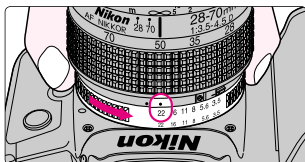
露出モード*		マルチプログラムオート
測光モード*		マルチパターン測光
フィルム給送モード*		1コマ巻き上げ
フォーカスエリア*		ワイドフォーカスエリア
フォーカスモード*		シングルAFサーボ
シンクロモード*		先幕シンクロ
装着レンズ		AFニッコールレンズ

※の各機能については、QR (クイックリセット) ナンバーを0にセットすると一括して設定されます。

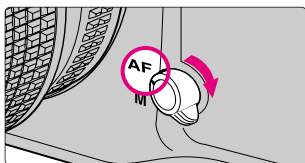
一般的な撮影は、ここで説明するマルチプログラムオートで、ほとんど行えます。

1 レンズの絞りリングを最小絞りにセットします。

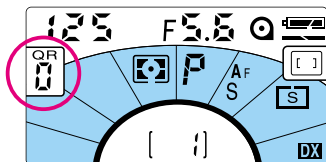
…絞りリングの「最も数値の大きい絞り値」を最小絞りといいます。



2 フォーカスモード切り換えダイヤルをAFにセットします。



3 QR(クイックリセット) ナンバーを0に設定します。



QRナンバー0をセットすると、各機能は下記の設定状態になります。

- 露出モード : P マルチプログラムオート
- 測光モード : ☉ マルチパターン測光
- フォーカスエリア : [] ワイドフォーカスエリア
- シンクロモード : 先幕シンクロ
- フィルム給送モード : [] 1コマ巻き上げ
- フォーカスモード : A_F-S シングルAFサーボ

※下記の機能は解除されます。

- ・露出補正
- ・プログラムシフト
- ・AEとSBのブラケットिंग

QR機能の詳細は ☞ P.50

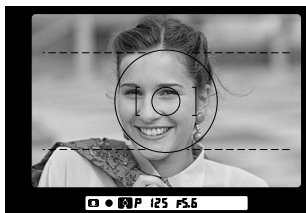
レンズの距離リングを回さないでください

オートフォーカス(フォーカスモード切り換えダイヤルがAF)で撮影する場合は、ピント合わせはカメラが自動で行います。レンズの距離リングは手で回さないでください。

4 構図を決め、シャッターボタンを半押しします。

…ピントを合わせたいものにフォーカスフレームを重ねて、構図を決めます。

…撮りたいものがフォーカスフレームから外れる構図のときは、フォーカスロック撮影をしてください。 ☞ P.60



このカメラのファインダーで確認できるファインダー視野率は、実際に撮影される画面の約92%です。

したがって、ファインダーをのぞいて見た視野よりも、実際に撮影される画面は多少広くなります。

ただし、ネガフィルムをサービスサイズなどでプリントした場合には、実際に撮影した画面よりも、画面の周囲が数ミリカットされる傾向がありますので、ご注意ください。

5 ●または▶ ◀表示の点灯を確認して、ゆっくりとシャッターボタンを押します。

…緑色の“?”が点灯しているときは、スピードライト撮影をおすすめします。 ☞ P.76



こんなときにはシャッターがきれません。

表示	対応	参照ページ
FEE 点滅	レンズの絞りを最小絞りにセットしてください。	☞ P.18
▶ ◀ 点滅	手でピント合わせをしてください。	☞ P.44
◀ 点灯	被写体から、もっと離れて撮影してください。	☞ P.43

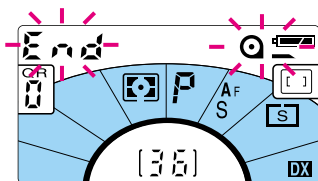
※上記以外の表示については ☞ P.22/102~105

撮影フィルムが終了したら（フィルムの巻き戻し方）

撮影フィルムが終了すると、外部表示パネルに下記の表示が点滅して、シャッターがきれなくなります。

6 フィルムの終了を確認します。

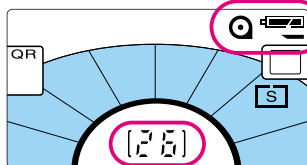
- …装てんしてあるフィルムの規定枚数は、フィルム確認窓で確認できます。
- …規定枚数を超えて撮影したコマは現像処理上カットされることがありますのでご注意ください。



7 フィルムを巻き戻します。

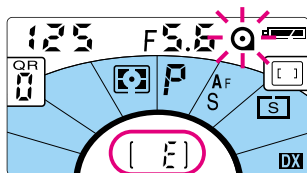
IN & Ps ➡
(同時に1秒以上)

- …巻き戻し中は、外部表示パネルに“**Q** _”が点灯し、カウントダウンされたフィルムコマ数が表示されます。




8 巻き戻し完了を確認します。


- …フィルムカウンターに“**E**”が表示され、“**Q**”が点滅すると巻き戻しは完了です。
- ※巻き戻し操作を行ってもフィルムの巻き戻しが行われない場合は、バッテリーチェック表示で電池容量を確認してください。




☞ P.21


巻き戻し途中でモーターが停止した場合は

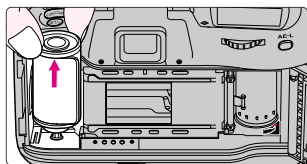
裏ぶたを開けずに、バッテリー残量をチェックしてください。“”が点滅している場合は、いったん電源をOFFにして電池を交換した後、再度巻き戻し操作を行ってください。

電池交換の際は、 P.95 「電池の取り扱いについて」の注意事項を必ず守ってください。

なお、巻き戻し途中で裏ぶたを開けてしまうと、“Err”と“”が点滅して警告します。

9 フィルムを取り出します。

- …直射日光の当たらないところで裏ぶたを開け、イラストのようにパトローネを斜め上に持ち上げながら、フィルムを取り出してください。
- …フィルム巻き戻し完了後に、パトローネを取り出さないうまシャッターボタンを押すと、“”表示が点滅して警告します（パトローネを取り出してください）。



基本的な使い方

撮影状況や撮影目的に応じて
露出モードや測光モードなどの基本的な機能を
上手にご活用ください。

露出モードの選択

撮影状況や表現意図に合わせて、4つの露出モードから好みのモードが選べます。

…装着レンズによっては、露出モードに制限があります。☞ P.98

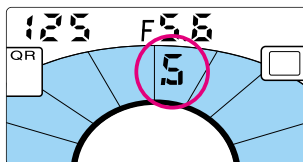
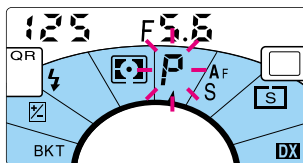
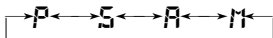
露出モードの設定方法



…セレクト表示を露出モードエリアに合わせて、エリア内の表示を点滅させます。



…希望する下記の露出モード表示を点灯させます。



P：マルチプログラムオート



撮影状況に応じて、最適露出となるようカメラが自動的にシャッタースピード (30秒～1/4000秒) と絞り値 (最小絞り～開放絞り) の組み合わせを制御します。初心者の方や突然のシャッターチャンスの時などにおすすめのモードです。☞ P.28

S：シャッター優先オート



撮影者がシャッタースピード(30秒~1/4000秒)をセットすれば、絞りはカメラが自動制御します。スポーツなどで被写体の一瞬の動きを写し止めるなど、シャッタースピードを重視した撮影に最適です。 P.54

A：絞り優先オート



撮影者が絞り値(最小絞り~開放絞り)をセットすれば、シャッタースピードはカメラが自動制御します。手前から奥まで鮮明に写す、背景をぼかすなど、被写界深度(P.110)を考慮した撮影に最適です。また、スピードライト使用時には、絞り値を変えることによって調光範囲を変えることもできます。 P.55

M：マニュアル



シャッタースピード(30秒~1/4000秒)も絞り値(最小絞り~開放絞り)も、撮影者が自由にセットできるので、撮影状況や目的に合わせた露出決定ができます。 P.56

イメージプログラムの選択

撮影状況や表現意図に合わせて、P_sモードの8つのイメージプログラムから好みのモードが選べます。いずれのイメージプログラムも、それぞれの撮影状況に最も適した露出制御をカメラが自動的にを行います。

…装着レンズによってはP_sモードが使用できない場合があります。 P.98

イメージプログラム撮影時の注意事項

・P_sモード時は、下記機能は次の設定状態になります（※印の機能は再設定可能）。

- ※測光モード : マルチパターン測光になります。
- ※フォーカスエリア : スピードライト使用時を除き、ワイドフォーカスエリアになります。
- ※プログラムシフト : 解除されます。
- ※露出補正 : 解除されます。
- シンクロモード : 夜景、動感モードではSLOWになり、それ以外では先幕シンクロになります。P_sモード選択後は、シンクロモードの赤目軽減発光の設定が可能です。

・レンズの絞りリングは最小絞りに設定してください。

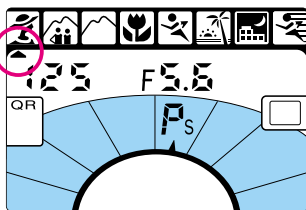
・スピードライト使用時にISO400を超える高感度フィルムを使用すると、背景がオーバーになることがあります。

ISO100~400のフィルムの使用をおすすめします。

イメージプログラムの設定方法



…希望するイメージプログラム表示の下にセレクト表示を点灯させます。



イメージプログラムの解除方法

設定時と同操作でイメージプログラム表示の下に点灯しているセレクト表示を左右に移動させて消灯させるか、露出モードをP、S、A、Mのいずれかに設定し直してください。

：ポートレートモード



被写界深度を浅くして背景をきれいにボかし、被写体の人物を浮き立たせた立体感のある写真が写せます。

…85mm～200mm程度の明るい望遠レンズが効果的です。

：記念写真モード



被写界深度を深くして、被写体の人物はもちろん、記念に残したい背景にもピントを合わせた、シャープな写真が写せます。

…広角から標準程度のレンズが効果的です。

…被写体が比較的暗い場合には、シャッタースピードが遅くなりますので、手ブレに注意してください。三脚の使用をおすすめします。

：風景モード



被写界深度を深くして、美しい自然などの近景から遠景までピントを合わせた風景写真が写せます。

…広角から望遠まで使用可能です。

…被写体が比較的暗い場合には、シャッタースピードが遅くなりますので、手ブレに注意してください。三脚の使用をおすすめします。

…スピードライトの使用はおすすめできません。

📷：クローズアップモード



被写界深度を浅くして被写体を浮き立たせ、背景に美しいボケ味が得られるクローズアップ写真が撮影できます。

…マイクロニッコールレンズが効果的です。

…被写体が比較的暗い場合には、シャッタースピードが遅くなりますので、手ブレに注意してください。三脚の使用をおすすめします。

…スピードライトの使用はおすすめできません。

🏃：スポーツモード



動きの激しい被写体の一瞬の動きを写し止めるなど、躍動感を表現できます。

…80mm～300mm程度の明るい望遠レンズが効果的です。

🌅：シルエットモード



夕日を背景にした人物撮影などで、夕焼け空に露出を合わせ、人物をシルエットにして美しい情景をドラマチックに表現できます。

…広角から望遠まで使用可能です。

…被写体が比較的暗い場合には、シャッタースピードが遅くなりますので、手ブレに注意してください。三脚の使用をおすすめします。

…スピードライトの使用はおすすめできません。

：夜景モード



夕景や夜景を背景にして撮影する際、背景と主要被写体の両方を美しく、より自然に写すことができます。

…広角から望遠まで使用可能です。

…シャッタースピードが遅くなりますので、手ブレに注意してください。三脚の使用をおすすめします。

：動感モード



シャッタースピードを比較的遅くして、川の流れや噴水、人物、車など、被写体の動きを強調した写真が撮影できます。

…80mm～300mm程度の明るい望遠レンズが効果的です。

測光モードの選択

撮影目的や光の状況に合わせて、3つの測光モードから好みのモードが選べます。

…装着レンズによっては、測光モードに制限があります。 P.98

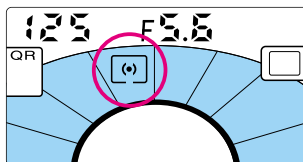
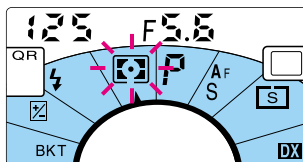
測光モードの設定方法



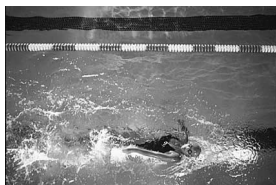
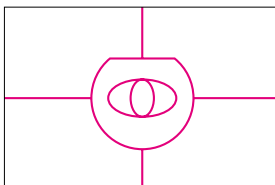
…セレクト表示を測光モードエリアに合わせて、エリア内の表示を点滅させます。



…希望する下記の測光モード表示を点灯させます。



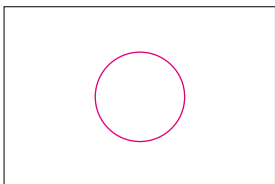
: 3D-8分割マルチパターン測光



撮影画面を図のように8分割し、それぞれの部分を独立して測光し、各エリアで得られる被写体の輝度、輝度差にDタイプレンズからの撮影距離情報を加えた3つの情報に基づいて露出値を決定します。さまざまな光の状況下で適正露出が得られる確率をより高めています。

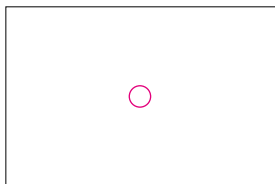
…Dタイプ以外のAFニッコールレンズを装着した場合は、レンズからの距離情報が加味されない8分割マルチパターン測光となります。

: 中央部重点測光



ファインダー中央部（ $\phi 12\text{mm}$ の円内）を重点的に測光して露出値を決定します。 $\phi 12\text{mm}$ の円内の露出を基準に撮影したい場合に適しています(中央重点度約75%)。

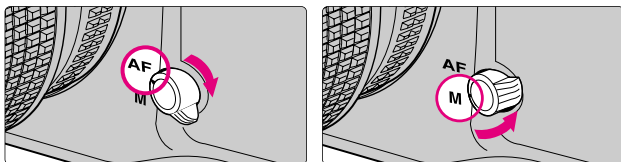
: スポット測光



ファインダー中央部（ $\phi 3\text{mm}$ の円内）を部分測光して露出値を決定します。逆光時やコントラストの差が激しいときなど、 $\phi 3\text{mm}$ の円内の露出を基準に撮影したい場合に適しています。

フォーカスモードの選択

フォーカスモード切り換えダイヤルのセット位置 (AF・M) によって、ピント合わせの方法をオートフォーカスにするかマニュアルフォーカスにするかが選べます。



AFにセットしたとき

AFにセットしたときのみ、下記の操作でAF-S (シングルAFサーボ) とAF-C (コンティニュアスAFサーボ) のいずれかのピント合わせの方法を選ぶことができます。

いずれの方法も、カメラがオートフォーカスでピントを合わせます。

…被写体が動いている場合は、自動的に「予測駆動フォーカス」となります。

…ファインダー内のピント表示については P.43

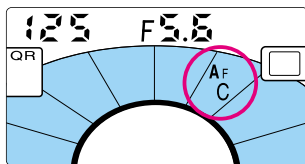
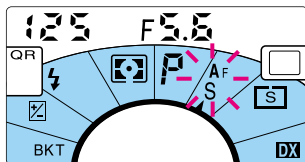
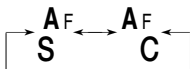
AFモードの設定方法



…セレクト表示をAFモードエリアに合わせて、エリア内の表示を点滅させます。



…希望する下記のAFモード表示を点灯させます。



AF-S : シングルAFサーボ

シャッターボタンを半押しして、ファインダー内に下記のいずれかのピント表示が点灯しているときのみシャッターをきることができる、フォーカス優先のAFモードです。

ファインダー内のピント表示と表示の内容

- : 合焦表示
被写体にピントが合うと点灯します (撮影できます)。
…“●”が点灯した時点でフォーカスロックがかかり、シャッターボタンを半押ししている間、ピントは固定されます。
- ▶ ◀ : 予測駆動表示
被写体の動きを予測してピント合わせをする、予測駆動フォーカス中に表示されます (撮影できます)。
…“▶ ◀”表示が点灯しているときにシャッターをきれば、ピントの合った写真が撮影できます。

AF-C : コンティニュアスAFサーボ

ピント表示の状態にかかわらず、シャッターボタンを押し込めばいつでもシャッターがきれる、リリース優先のAFモードです。
…いったんピントが合ってもフォーカスロックせずに、シャッターボタンを半押ししている間は、被写体の動きに応じて常にピントを追い続けます。

ファインダー内のピント表示と表示の内容

*下記のピント表示にかかわらず、撮影できます。

- : 合焦表示
被写体にピントが合うと点灯します。
- ▶ ◀ : 予測駆動表示
被写体の動きを予測してピント合わせをする、予測駆動フォーカス中に表示されます。
…“▶ ◀”表示が点灯しているときにシャッターをきれば、ピントの合った写真が撮影できます。

AFモード時のピント警告表示について

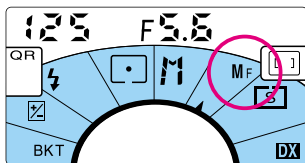
- ▶ ◀点滅 : オートフォーカスでピント合わせができないとき点滅します。
…P.44の方法でピント合わせをしてください。
- ◀点灯 : 装着レンズの最短撮影可能距離より被写体に近づきすぎると点灯します。
…被写体からもっと離れて撮影してください。

フォーカスモードの選択—つづき—

Mにセットしたとき

Mにセットしたときは、下記のいずれかの方法で撮影者自身がレンズの距離リングを回してピントを合わせます。

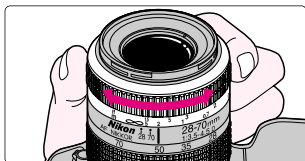
いずれの方法も、ピント表示の状態にかかわらず、シャッターボタンを押し込めばいつでもシャッターをきることができます。



CPU内蔵以外のニッコールレンズ装着時は、フォーカスモードエリアの表示は消灯します。

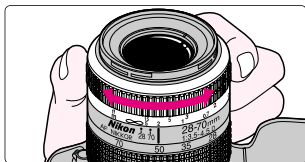
Mにセットしたときの距離リングによるピント合わせの方法

[マニュアル(手動)によるピント合わせ]



撮影者自身がレンズの距離リングを手動で回して、ファインダースクリーンのマット面の像がはっきり見えるようにピントを合わせます。

[フォーカスエイドによるピント合わせ]



シャッターボタンを半押しして、ファインダー内に“●”表示が点灯するように、レンズの距離リングを撮影者自身が手動で回してピントを合わせる方法です。


※ファインダー内に“▶”または“◀”が表示された場合は、“●”表示が点灯するようにレンズの距離リングを回してください（ピントが合うと“●”が点灯します）。

…CPU内蔵ニッコール以外のレンズをご使用の場合は、使用可能なレンズに制限があります。 P.98

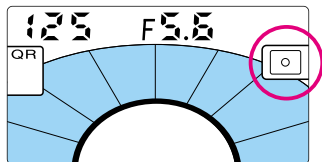
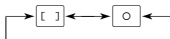
フォーカスエリアの選択

オートフォーカス撮影時、撮影目的や被写体の状況に合わせて、2つのフォーカスエリアから好みのエリアが選べます。

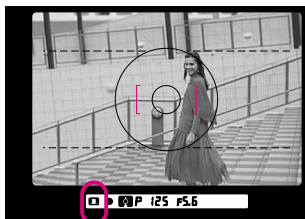
フォーカスエリアの設定方法

 +  

…希望する下記フォーカスエリア表示を点灯させます。



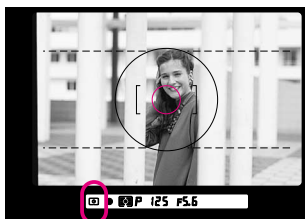
[] : ワイドフォーカスエリア



ファインダー中央部のワイドフォーカスフレームで囲まれた、比較的広い範囲でピントを検出します。

フォーカスエリアに被写体がとらえやすく、素早いピント合わせが可能です。

○ : スポットフォーカスエリア



ファインダー中央部のスポットフォーカスフレームで囲まれた、ごく狭い範囲でピントを検出します。

被写体の特定の部分にピントを合わせたい場合に適しています。

フィルム給送モードの選択

撮影目的や撮影条件に合わせて、4つのフィルム給送モードから好みのモードが選べます。

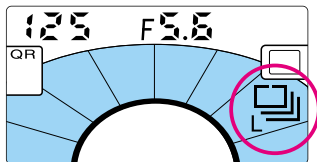
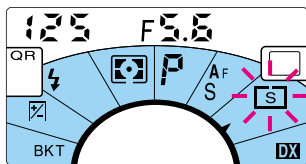
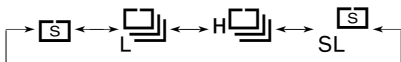
フィルム給送モードの設定方法



…セレクト表示をフィルム給送モードエリアに合わせて、エリア内の表示を点滅させます。



…希望する下記のフィルム給送モード表示を点灯させます。



S : 1コマ巻き上げ

シャッターをきるごとに、1コマずつ巻き上げが行われます。

L : 低速連続巻き上げ

シャッターボタンを押し続けると、最高2.0コマ/秒で連続巻き上げが行われます。

H : 高速連続巻き上げ

シャッターボタンを押し続けると、最高3.7コマ/秒で連続巻き上げが行われます。

…予測駆動時は約3.1コマ/秒となります。

SL : サイレントモード

シャッターをきるごとに、1コマずつ巻き上げが行われます。

巻き戻し音が非常に小さくなり、静かな場所でも気になりません。

※巻き上げ速度は、フォーカスモードM、露出モードH、シャッタースピード1/250秒以上、常温(20℃)、新品電池使用時の1~36枚撮影時における平均値です。

スピードライト撮影時には、撮影状況や表現意図に合わせて、5つのシンクロモードから好みのモードが選べます。

シンクロモードの設定方法



…セレクト表示をシンクロモードエリアに合わせて、エリア内の表示を点滅させます。

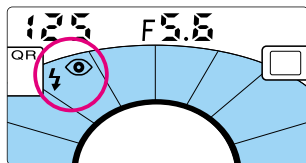
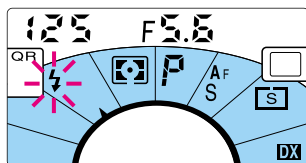


…希望する下記のシンクロモード表示を点灯させます。



※先幕シンクロ設定時は、“⚡”表示が点灯しますが、設定後は消灯します。

…シンクロモードの詳細については P.48





：先幕シンクロ



難しい撮影状況でもきれいなスピードライト写真が撮れる、マルチエリアBL調光が可能な標準的なモードです。このモードでほとんどのスピードライト撮影が可能です。 P.78

※別売りスピードライトSB-26・25・24装着時は、先幕シンクロの設定はスピードライトのシンクロセレクターで行います（シンクロセレクターを **NORMAL** にセットしてください）。



：赤目軽減発光



マルチエリアBL調光のまま、スピードライト撮影で人物の目が赤く写ってしまう赤目現象を軽減します。

※シャッターボタンを押した後、約1秒間赤目軽減ランプが点灯した後、スピードライトが発光しますので、シャッターがきれるまで、カメラや被写体の人物が動いたりしないように注意してください（シャッターチャンスを優先するような撮影にはおすすりできません）。

※赤目軽減発光は、内蔵スピードライト使用時と、別売りスピードライトのSB-28、SB-27、SB-26使用時のみ可能です。

●別売りスピードライト使用時の注意事項は P.88



：赤目軽減スローシンクロ

赤目軽減発光とスローシンクロを同時に設定できます。

赤目軽減発光とスローシンクロを併用する場合にご利用ください。

※赤目軽減スローシンクロは、内蔵スピードライト使用時と、別売りスピードライトSB-28、SB-27、SB-26使用時のみ可能です。

●別売りスピードライト使用時の注意事項は P.88

⚡ SLOW : スローシンクロ



マルチエリアBL調光のまま、撮影状況に応じて、シャッタースピードを最長30秒まで延長しますので、夕景や夜景を背景にした人物撮影などで、近くの人物も背景もきれいに表現できます。 P.78

…露出モードがPまたはMモード時のみ設定可能です。

…イメージプログラムの夜景、動感モードでは、各モードの効果を出すため自動的にスローシンクロが設定されます。

⚡ REAR : 後幕シンクロ



シャッタースピードを遅くして被写体の動きを強調したいときに、被写体の動きを想像させる光の流れなどを、被写体の後方に自然な形で表現できます。このモードでは、DタイプAFレンズ装着時もモニター発光は行われません。 P.78

…露出モードがPまたはMモード時に後幕シンクロに設定した場合は、自動的にスローシンクロも設定されます。

…P_sモードでは、後幕シンクロの設定はできません。

※別売りスピードライトSB-26・25・24装着時は、後幕シンクロの設定はスピードライトのシンクロセクターで行います（シンクロセクターをREARにセットしてください）。

各種機能の好みの設定状態を一括して呼出す

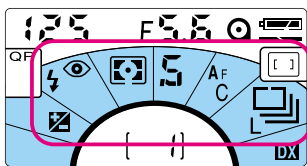
QR (クイックリセット) 機能では、使用頻度の高い露出モードや測光モードなどの組み合わせを好みの設定状態にして3通りまでカメラに記憶させることができます。記憶させた機能は、必要に応じて素早く呼出すことができます。また、記憶内容の変更も可能です。

記憶させる場合の手順

1 下記の各機能を好みの状態にします。

…設定状態を記憶させられる機能

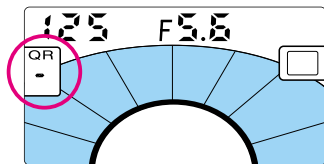
- ・露出モード (イメージプログラムを含む) P.34 P.54
- ・測光モード P.40
- ・フォーカスエリア P.45
- ・シンクロモード P.47
- ・フィルム給送モード P.46
- ・フォーカスモード (AF-S、AF-Cモードのみ) P.42
- ・露出補正 P.63



2 QRナンバーを点灯させます。



QRナンバー表示部に“-”が点灯します。

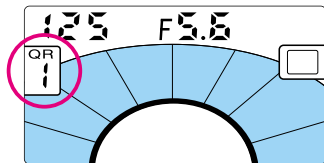


…QRナンバー1、2、3のいずれかを点灯させてINボタンから指を離すと記憶が完了します。

…記憶させないときは、“-”を点灯させてINボタンから指を離します。

…記憶させたQRナンバーに、すでに記憶させた内容がある場合は、新たな内容が上書きされ、前の記憶内容は消去されます。

※QRナンバー1については P.52



呼出す場合の手順

呼出したいQRナンバーを点灯させます。

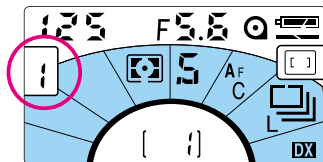


…QRナンバーには0、1、2、3の4つがあり、1、2、3が、ご自身が記憶させた機能と呼出す際の番号です。いずれかのQRナンバーを点灯させてOUTボタンから指を離すと、呼出しが完了します。

…QRナンバーが消灯しているときにOUTボタンを押すと、QRナンバー表示部には-が点灯します。そのままOUTボタンから指を離せば、OUTボタンを押す前の設定状態に戻ります。

…QRナンバーが点灯しているときにOUTボタンを押すと同じQRナンバーが点灯し、コマンドダイヤルを回すと他のQRナンバーを点灯させることができます。

※QRナンバー0については P.52



QRナンバー呼び出し時の表示について

OUTボタンを押しながらコマンドダイヤルを回してQRナンバーを点灯させると、外部表示パネルおよびファインダー内の表示は下記ようになります。

外部表示パネルの表示

呼び出しの動作に合わせて、点灯しているQRナンバーの記憶内容どおりに表示が変化します。

ファインダー内表示

OUTボタンを押している間は、いずれのQRナンバーを点灯させても、フォーカスエリア表示以外は変化しません。

…点灯させたQRナンバーの記憶内容をファインダー内表示で確認する場合は、OUTボタンから指を離してください。

[QR (クイックリセット) 機能] 一つづき

解除される機能と保持される機能について

QRナンバー1～3を呼出した場合、プログラムシフトは解除されますが、設定してある下記機能の設定状態は保持されます。

- ・調光補正
- ・AEブラケットング
- ・SBブラケットング

QRナンバー呼出し後に各機能の設定を変えた場合は

QRナンバーを呼び出した後、QR機能で設定された機能のいずれかを設定変更した場合は、QRナンバーはその時点で消灯します。




- このまま撮影すると、各機能は設定変更後の状態で制御されますが、あらためて記憶させないかぎり、QRナンバーの記憶内容は設定変更前の状態で保持されます。

QRナンバー0について

QRナンバー0は、QR機能でリセットされる各機能の設定状態の、標準的な組み合わせを呼び出すナンバーで、あらかじめカメラに登録されています。

※登録されている各機能の組み合わせを変更することはできません。

QRナンバーの0を選択すると、各機能は下記の設定状態になります。

- ・露出モード : P マルチプログラムオート
 - ・測光モード :  マルチパターン測光
 - ・フォーカスエリア :  ワイドフォーカスエリア
 - ・シンクロモード : 先幕シンクロ
 - ・フィルム給送モード :  1コマ巻き上げ
 - ・フォーカスモード : AF-S シングルAFサーボ
- なお、設定してある次の機能はリセットされます。
- ・プログラムシフト/露出補正/AEとSBのブラケットング

※QRナンバー0を呼出した後に、各機能を任意に設定変更した場合は、QRナンバーは消灯し、設定変更した組み合わせで制御されます。

応用的な使い方

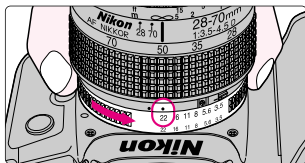
各種機能を応用し、
このカメラをさらにご活用ください。

各露出モードによる撮影

シャッター優先オート (S) による撮影

1 レンズの絞りリングを最小絞りにセットします。

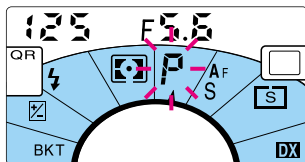
…最小絞り (最も大きい数値の絞り値) にセットされていないと、ファインダー内と外部表示パネルに“FE”表示が点滅して、シャッターがきれません。



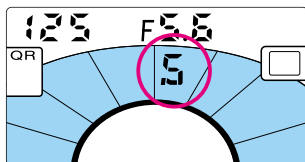
2 露出モードをSにします。



…セレクト表示を露出モードエリアに合わせて、エリア内の表示を点滅させます。

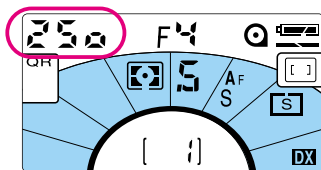


…“S”を点灯させます。




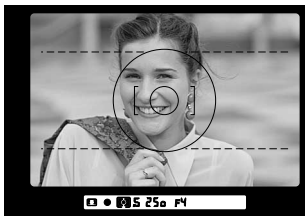
3 コマンドダイヤルを回して、シャッタースピードをセットします。

…シャッタースピードは、bulbを除く30秒～1/4000秒 (1/3ステップ) でセットできます。



4 ピント表示を確認して、撮影します。

…ファインダー内に露出警告が表示された場合は、 P.59



絞り優先オート (A) による撮影

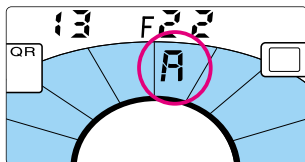
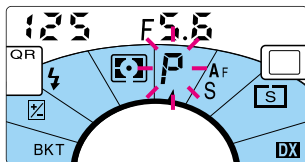
1 露出モードをAにします。



…セレクト表示を露出モードエリアに合わせて、エリア内の表示を点滅させます。

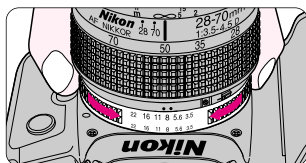


…“A”を点灯させます。



2 絞りをセットします。

…レンズの絞りリングに希望の絞り値 (開放絞り～最小絞り) をセットします。



3 ピント表示を確認して、撮影します。

…ファインダー内に露出警告が表示された場合は、 P.59



各露出モードによる撮影一つづき

マニュアル (M) による撮影

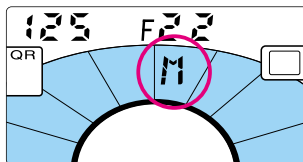
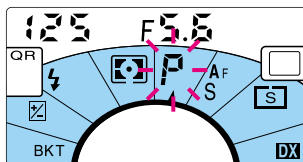
1 露出モードをMにします。



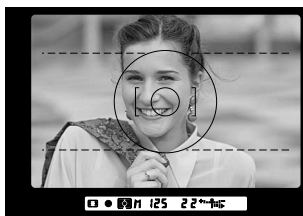
…セレクト表示を露出モードエリアに合わせて、エリア内の表示を点滅させます。



…“M”を点灯させます。

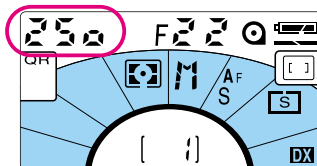


2 構図を決めます。



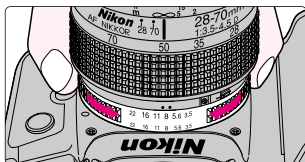
3 コマンドダイヤルを回して、シャッター速度をセットします。

…シャッター速度はbulbおよび30秒～1/4000秒(1/3ステップ)でセットできます。



4 絞りをセットします。

…レンズの絞りリングに希望の絞り値（開放絞り～最小絞り）をセットします。



□ 露出インジケータの見方

[適正露出]



[1/3段アンダー]



[1段以上オーバー]



マニュアル (M) の場合はbulbを除いて、カメラが測光した露出値との差がファインダー内の露出インジケータに表示されます。

また、カメラの測光限界を超えると露出インジケータが点滅警告します。

※スピードライト使用時に露出インジケータが表示された場合は P.81

5 ピント表示を確認して、撮影します。



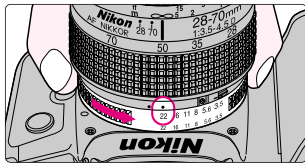
応用的な使い方

イメージプログラムによる撮影

イメージプログラムによる撮影

1 レンズの絞りリングを最小絞りにセットします。

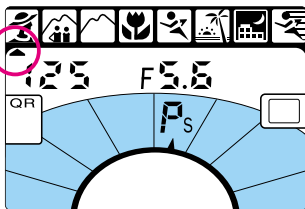
…最小絞り（最も大きい数値の絞り値）にセットされていないと、ファインダー内と外部表示パネルに“FE”表示が点滅して、シャッターがきれません。



2 イメージプログラムを選択します。

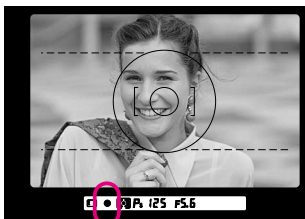


…希望するイメージプログラム表示の下にセレクト表示を点灯させます。



3 ピント表示を確認して、撮影します。

…ファインダー内に露出警告が表示された場合は、P.59



露出に関連する次の警告が表示された場合は、下記に従って対応してください。

■ FEE (点滅)

● 露出モードがP、P_s、Sの場合

レンズの絞りリングが最小絞りにセットされていません。

- ・レンズの絞りリングを最小絞り(最も大きい数値の絞り値)にしてください。

■ HiまたはLo (点灯)

● 露出モードがP、P_sの場合

被写体が明るすぎたり暗すぎたりして、カメラの制御範囲を超えています。

- ・Hi: ND(光量調節用)フィルターを使用してください。
- ・Lo: スピードライトを使用してください。

● 露出モードがSの場合(同時に露出インジケータが点灯)

- ・Hi: シャッタースピードをより高速にセットし、それでも警告表示が消えないときは、ND(光量調節用)フィルターを使用してください。
- ・Lo: シャッタースピードをより低速にセットし、それでも警告表示が消えないときは、スピードライトを使用してください。

● 露出モードがMの場合(同時に露出インジケータが点灯)

- ・Hi: より大きい数値の絞り値にし、それでも警告表示が消えないときは、ND(光量調節用)フィルターを使用してください。
- ・Lo: より小さい数値の絞り値にし、それでも警告表示が消えないときは、スピードライトを使用してください。

■ 露出インジケータのみの点滅

● 露出モードがMの場合

被写体が明るすぎたり暗すぎたりして、カメラの測光限界を超えています。

- ・+側で点滅: ND(光量調節用)フィルターを使用してください。
- ・-側で点滅: スピードライトを使用してください。

■ シャッタースピード表示の点滅(ファインダー内のみ)

● 露出モードがP、P_s、Mの場合

撮影場所が暗いためシャッタースピードが遅くなり、手ブレのおそれがあります。

- ・P、P_sのとき: 三脚を使って撮影するか、スピードライト撮影を行ってください。
- ・Mのとき: より小さい数値の絞り値にし、それでも点滅が続くときは、三脚を使って撮影するか、スピードライト撮影を行ってください。

□ ⚡ (緑色点灯・ファインダー内のみ)

● 露出モードがP、P_s、S、M、M1の場合

被写体が暗いのでスピードライトの使用をすすめています。 P.76

- ・そのままでも撮影できますが、内蔵スピードライトを使用してください。

フォーカスロック撮影

オートフォーカスによるピント合わせでは、ピントはフォーカスフレーム内の被写体に合います。撮りたいものがフォーカスフレームから外れる構図のときは、フォーカスロックによる撮影が有効です。

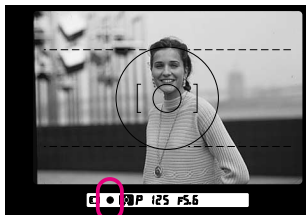


…フォーカスモードがシングルAFサーボモード時のみに可能です。

操作手順

1 撮りたいものにフォーカスフレームを重ねて、シャッターボタンを半押しします。

…ピントが合うと“●”表示が点灯し、シャッターボタンの半押し中、ピントはそこで固定されます。



2 ●(合焦)表示が点灯したら、シャッターボタンを半押ししたまま、構図を決めて撮影します。

…“●”表示の点灯後は、撮影距離を変えないでください。

…フォーカスモードがAf-S、フィルム給送モードが[5]の組み合わせでは、シャッターをきった後も、半押し状態からさらにシャッターボタンを押し込めば、ピントを固定したまま何度でも撮影できます。



撮りたい部分の露出を固定したまま撮影できます。同じ露出のまま、ポーズや構図を変えて数コマ撮影する場合などに、AEロックによる撮影が有効です。

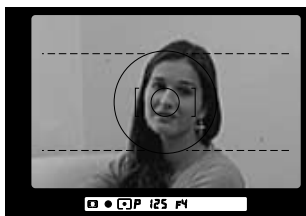


…露出モードはマニュアル(M)以外に設定してください。測光モードは中央部重点測光またはスポット測光をおすすめします。

操作手順

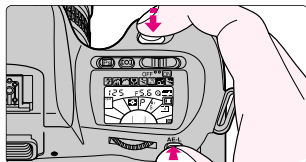
- 1 被写体を画面中央に大きくとらえて、シャッターボタンを半押しします。

…露出を合わせたい部分が小さいときは、いったん近づいて、被写体を大きくとらえてください。

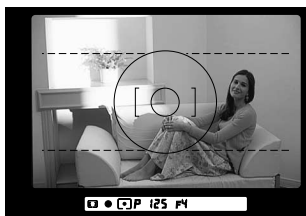


- 2 シャッターボタンを半押ししたままAEロックボタンを押します。

…AEロックボタンを押している間、カメラが露出値を記憶しています。



- 3 AEロックボタンを押したまま、撮影したい構図でピントを合わせ、シャッターをきります。



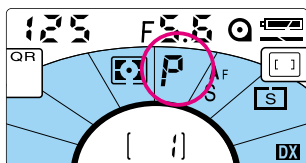
プログラムシフト撮影

マルチプログラムオート (P)、およびイメージプログラム (P_s) で撮影中 (スピードライト使用時を含む)、コマンドダイヤルを回すだけで、露出を一定にしたままシャッタースピードと絞り値の組合わせを変えることができます。

このプログラムシフトにより、露出モードをP・P_sにしたまま、シャッター優先オート (S) あるいは絞り優先オート (A) 的な使い方ができます。

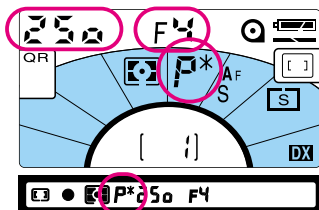
操作手順

- 1 露出モードをPまたはP_sにして、シャッターボタンを半押しします。



- 2 コマンドダイヤルを回し、希望するシャッタースピード、または絞り値を表示させます。

…プログラムシフト中は、ファインダー内と外部表示パネルに、“P*”または“P_s*”が点灯します。



プログラムシフトは下記の場合に解除されます。

- ・半押しタイマーがOFFになったとき
- ・カメラの電源スイッチをOFFにしたとき
- ・露出モードを変更したとき
(あるイメージプログラムから他のイメージプログラムに設定を変更した場合も解除されます。)
- ・QRナンバーの呼出し操作を行ったとき
- ・内蔵スピードライトを上げたとき、または下ろしたとき
- ・別売りスピードライトの電源スイッチをOFFにしたとき

撮影目的や撮影条件に合わせて、±5段（1/3段ステップ）の露出補正ができます。

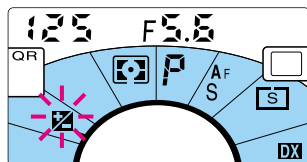
…露出補正は、いずれの露出モードでも可能です。

…背景が明るい場合は十側に、暗い場合は一側に補正するのが基本です。

※スピードライト使用時に露出補正を行った場合は、背景露出とスピードライト光量の両方に補正が行われます。

露出補正の設定方法

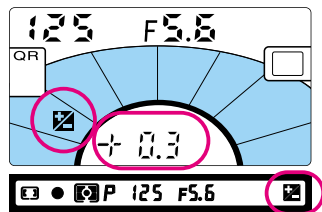
- 1 露出補正エリア内の表示を点滅させます。



- 2 希望する補正量を設定します。



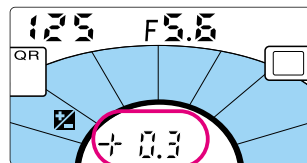
…補正量設定後は、ファインダー内に露出補正マーク“☒”が点灯します。



補正量の確認方法

設定時と同操作で“☒”表示を点滅させた後、

SET/OK ボタンを押すと確認できます。



露出補正の解除方法

設定時と同操作で補正量を“0”にセットします。

QRナンバー0を呼び出すことによっても解除できます。

AEブラケットिंग

露出決定が難しい撮影状況などで、適正露出を得るために段階的に露出をずらした撮影ができます。

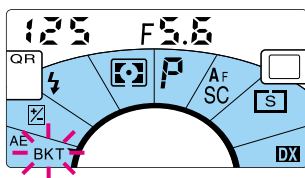
撮影枚数は、設定した補正ステップでアンダー側1枚、適正1枚、オーバー側1枚の順に、計3コマ撮影となります。

…AEブラケットिंगは、すべての露出モードで可能です。

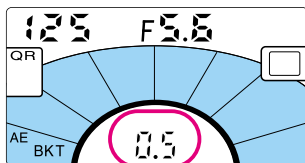
※P、P_sモード時はシャッタースピードと絞り値が変化し、Sモード時は絞り値が、Mモード時およびHモード時はシャッタースピードが変化します。

AEブラケットिंगの設定方法

- 1 AEブラケットिंगエリア内の表示を点滅させます。



- 2 補正ステップを設定します。

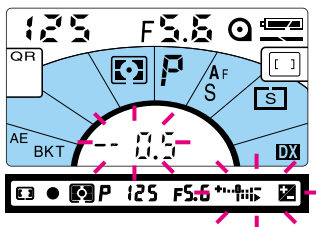


…設定できる補正ステップは以下の通りです。

0.3 ←→ 0.5 ←→ 0.7 ←→ 1.0

…AEブラケットिंगが設定されると、ファインダー内と外部表示パネルに右の表示が点滅します。



…撮影中は、シャッターをきるごとに、外部表示パネルで次のコマでの補正値が確認できます。



AEブラケティングの解除方法

3コマのブラケティング撮影が完了すると、AEブラケティングは自動的に解除され、通常の撮影状態に戻ります。

…撮影が完了する前に解除したいときは、電源スイッチをいったんOFFにしてください。

- AEブラケティングと通常の露出補正 (P.63) を併用した場合、両方の補正値が加算された露出値を基準にブラケティング撮影が行われます。
- シャッタースピードが“bulb”のとき、AEブラケティング機能は作動しません (レリーズロックされます)。
シャッタースピードは“bulb”以外にセットしてください。
- 3コマのブラケティング撮影中に撮影フィルムが終端になった場合は、フィルムを交換すれば、残りのブラケティング撮影を続行できます。
- AEブラケティングとSBブラケティングは併用できません。最後に設定された方が有効となります。
- スピードライト撮影時のAEブラケティングは、スピードライト光量には影響せず、背景露出に対して行われます。
- AEブラケティング設定後、ただちにセルフタイマー撮影を行った場合は、その間AEブラケティング設定状態が保留され、セルフタイマー撮影終了後、残りのブラケティング撮影を続行できます。
- フィルム給送モードが“”、“”のときにAEブラケティングを設定してシャッターボタンを押し続けると、3コマ撮影後自動的に停止します。

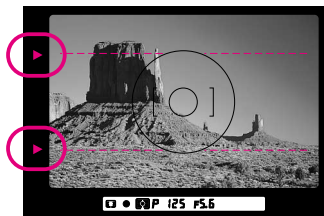
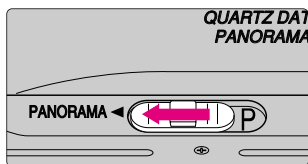
パノラマ撮影



標準撮影時の画面サイズは、フィルム面上で24×36mmですが、パノラマ撮影時には約13×36mmの範囲が画面サイズとなります。

…パノラマ写真は、上記サイズで撮影したフィルムをプリント段階で89×254mmのパノラマサイズに引き伸ばすものです。

パノラマ切り換えレバーを矢印方向に止まるまで確実にスライドさせます。



…ファインダー内にパノラマ表示が点灯します。

※パノラマ撮影範囲フレーム内で構図を決めてください。なお、プリント時には画面の周囲が数ミリ程度カットされますので、画面構成には余裕を持たせてください。

※パノラマ撮影時に、太陽光がレンズ面からファインダー内に直接入るような逆光で撮影を行う場合は、パノラマ撮影用の遮光板の燃損を防止するために、1/15秒以下の低速シャッタースピードは使用しないでください(特に露出モードがSまたはMの場合はご注意ください)。

日付や時刻の写し込み [クォーツデート]

日付や時刻など、撮影時のデート情報を写真に写し込むことができます。

各部の名前と主なはたらき

データ表示窓

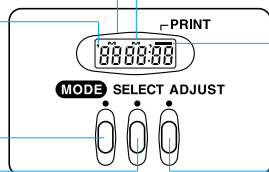
・：この表示の後に年が表示されます。

モードボタン

写し込むデータ、修正するデータを選びます。

セレクトボタン

データの修正箇所を選ぶときに使います。



M：この表示下に月が表示されます。

—：写し込みが行われると約2秒間点滅します。

アジャストボタン

データを修正するときに使います。

下記のデータが写し込めます

・年 月 日 ・日 時 分 (24時間制) ・月 日 年 ・日 月 年
※データ写し込みのフィルム感度連動範囲はISO32～3200です。

クォーツデートの電池について

- ・クォーツデート用電源には、3Vリチウム電池 (CR2025タイプ) を1個使用します。
- ・電池寿命は約3年です。

電池性能が低下すると、写し込まれた日付や時刻が薄くなる場合があります。

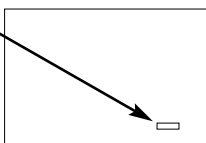
この場合は、新しい電池と交換してください。☞ P.70

※データ表示窓にデータが表示されていなかったり、または表示が薄いときも同様に電池を交換してください。

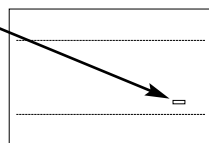
※電池を交換したときは、必ず日付と時刻を合わせ直してください。☞ P.69

データの写し込み位置について

[標準撮影時]



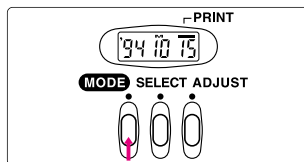
[パノラマ撮影時]



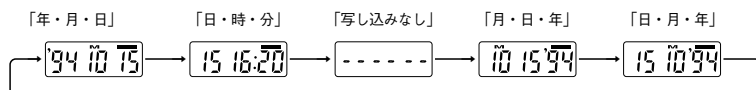
写し込みデータは図の部分に写し込まれます。この位置に白、オレンジ、黄色等の明るいものがあると、写し込まれたデータが判読しにくくなる場合がありますので注意してください。

データ写し込みの操作手順

- 1 MODEボタンを押して、写し込むデータを表示させます。



MODEボタンを押すたびに、データは次のように変化します。



データ表示窓に表示されているデータが写し込まれます。

「写し込みなし」の「-----」を表示させると、写し込みは行われません。

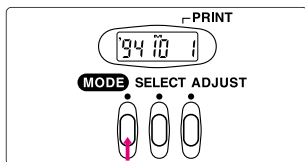
- 2 撮影します。



…シャッターがきれると同時に、データ表示窓の写し込みマーク“—”が約2秒間点滅して、写し込みが行われたことを知らせます。

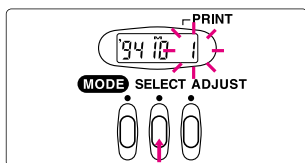
データ修正の操作手順

- 1 MODEボタンを押して、修正するデータを表示させます。



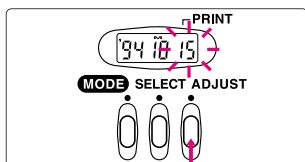
- 2 SELECTボタンを押して、修正する数字を点滅させます。

…「年・月・日」の修正は、「日・時・分」のモードではできません。他のモードで修正してください。



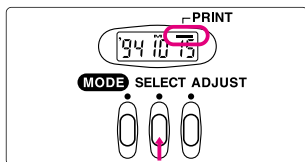
- 3 ADJUSTボタンを押して、点滅している数字を修正します。

…ADJUSTボタンを押し続けると、早送りになります。
…年の数値は、1～19、87～99、00の順に変化します。



- 4 修正後、数字の点滅が止まるまでSELECTボタンを押します。

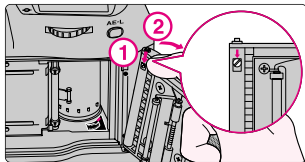
…この操作によって、写し込みマーク “—” が点灯すれば修正は完了です。



電池 (クォーツデート用) 交換の手順

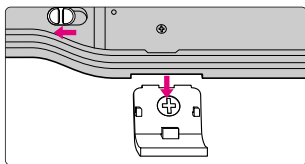
1 裏ぶたを外します。

- …裏ぶたを開け、裏ぶた着脱ピンを押し下げて、裏ぶたをボディから外します。
- …裏ぶたを開けるときは、フィルムが入っていないことを確認してください。



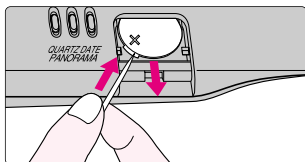
2 電池ぶたを外します。

- …電池ぶたロックレバーを←方向にスライドさせて電池ぶたを外します。



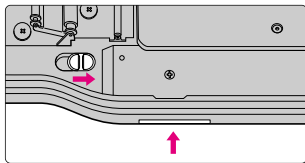
3 電池を取り出して、新しい電池を入れます。

- …3Vリチウム電池 (CR2025タイプ) 1個を、⊕極を上にして入れます。



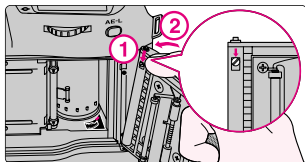
4 電池ぶたを閉じて、ロックします。

- …電池ぶたを十分に押し上げながら、電池ぶたロックレバーを→方向に止まるまでスライドさせて、電池ぶたをロックします。



5 裏ぶたを取り付けます。

- …電池を交換したときは、必ず日付と時刻を合わせなおしてください。 P.69



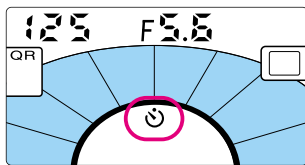
記念撮影など、撮影者自身も被写体として加わりたいときご利用ください。

…セルフタイマー時間は10秒間です。

1 ①を点灯させます。



…SETボタンを押すと、セルフタイマーマーク“①”が点滅します。その状態でコマンドダイヤルを回すと、1クリックごとに点灯と消灯を繰り返します。



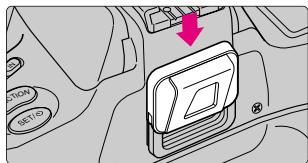
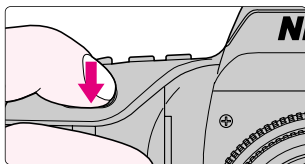
2 構図を決め、ファインダー内表示を確認して、シャッターボタンを押します。

…セルフタイマー表示LEDが点滅し、シャッターがされる2秒前から点灯に変わります。

…フォーカスモードがAf-Sのときは、ピント表示の“●”が点灯していないとセルフタイマーは作動しません。

…セルフタイマー設定後およびセルフタイマー作動中に解除する場合は、電源スイッチをOFFにしてください。

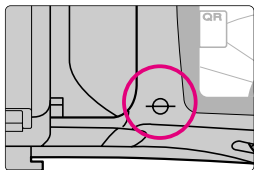
…撮影が終了すると、セルフタイマーの設定は解除されます。



オート露出 (M以外) にして、ファインダーから目を離して撮影する際は、接眼部からの逆入光を防ぐため、付属のアイピースキャップで接眼部を覆ってください。

フィルム面の位置を確認するには

フィルム面の位置について



- このカメラでは、フィルム位置マークがフィルム面の位置になります。クローズアップ撮影等で被写体までの距離を正確に測る場合は、ここから測ってください。
- レンズ取付け面からフィルム面までは46.5mmです。

長時間露出 [バルブ] 撮影

露出モードがマニュアルのとき、シャッタースピードを“bulb”にセットしてシャッターボタンを押すと、押している間はシャッターが開いたままになります。

…夜景の撮影や天体撮影など、30秒を超える長時間撮影を行う際にご使用ください。

…長時間露出撮影を行う場合は、三脚のご使用をおすすめします。

…シャッターボタンを指で押すかわりに、リモートコントロールアクセサリ（別売り）を使用することもできます。

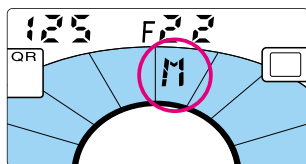
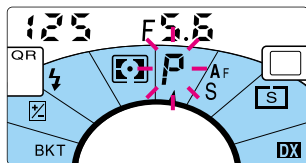
1 露出モードをMにします。



…セレクト表示を露出モードエリアに合わせて、エリア内の表示を点滅させます。

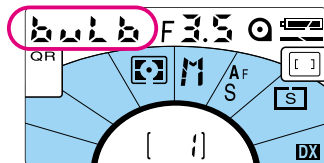


…“M”を点灯させます。



2 コマンドダイヤルを回して、シャッタースピードをbulbにセットします。

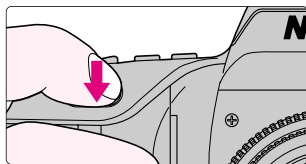
…“bulb”に設定後、露出モードを“S”にした場合は、“bulb”表示が点滅してシャッターがきれなくなります。



3 シャッターボタンを押します。

…連続撮影可能時間は、新品のリチウム電池を使用して、約5時間です。

ただし、低温時は電池の性能が低下しますので、連続撮影時間は短くなります。



DXマーク付きでないフィルムの感度設定

DXマーク付以外のフィルムを使用するときは、フィルム感度は撮影者が手動で設定します。

…手動で設定可能なフィルム感度は、ISO6～6400 (1/3ステップ) です。

…フィルム感度を手動で設定した場合、DXマーク付きフィルムを使用した場合でも、撮影者が設定したISO値でカメラが作動します。

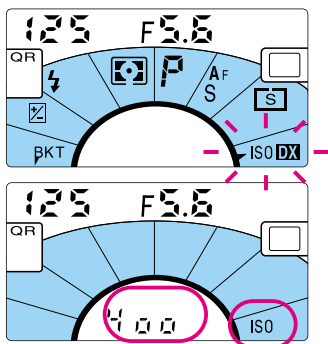
フィルム感度をセットします。



…セレクト表示をフィルム感度エリアに合わせて、エリア内の表示を点滅させます。



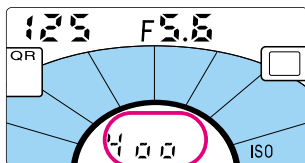
…設定したいISO値を点灯させます。



フィルム感度の確認方法

設定時と同操作で“ISO”表示を点滅させた後、

SET ボタンを押すと確認できます。



内蔵スピードライト撮影

内蔵スピードライトを使って、
簡単に多彩なスピードライト撮影が行えます。

目次

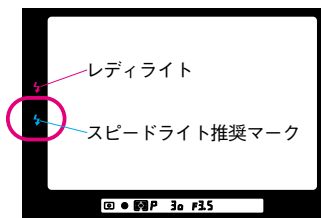
こんなスピードライト撮影ができます	76・77
こんなときにはスピードライト撮影を	76
[内蔵スピードライトの主な性能]	77
内蔵スピードライト撮影	78～87
撮影までの手順	74・75
調光範囲の確認方法	76
露出インジケータが表示されたときには	77
調光補正機能を使う	78
SBブラケット機能を使う	79・80
内蔵スピードライト撮影時に使えるAFニッコールレンズ	81
内蔵スピードライト撮影時に使えるAFニッコール以外のレンズ	82
スピードライト使用時の露出制御図	87
<hr/>	
使用可能な別売りスピードライトと可能な撮影	88
別売りスピードライト使用時の主な注意事項	89・90

こんなスピードライト撮影ができます

内蔵スピードライトの主な性能

- ・同調シャッタースピード：1/125秒以下
- ・フィルム感度連動範囲：ISO25～800
- ・ガイドナンバー：14 (ISO100・m、20℃時)
- ・照射角：28mmレンズの画角をカバー
- ・シンクロモード：先幕シンクロ/赤目軽減発光/赤目軽減スローシンクロ/スローシンクロ/後幕シンクロ

こんなときにはスピードライト撮影を



暗いとき、スピードライト撮影が効果的な撮影状況をカメラが判断し、ファインダー内に“” (スピードライト推奨マーク) が点灯して知らせます。

…“” が点灯したら、スピードライト撮影をおすすめします。

…スピードライト使用時は、ワイドフォーカスエリアに設定されていても、自動的にスポットフォーカスエリアに切り換わります。

装着するレンズによって、下表のスピードライト撮影が可能です。

装着レンズ	可能な撮影
DタイプAFレンズ	3D-マルチBL調光撮影 (距離情報とモニター発光あり)
Dタイプ以外のAFレンズ (F3AF用を除く) Ai-Pレンズ	マルチBL調光撮影 (モニター発光あり)
CPU内蔵ニッコール以外のレンズ	簡易TTL-BL調光撮影

※いずれの場合も、露出モードをMにセットすると、TTL調光となります。

※TTL調光時はモニター発光が行われません。モニター発光を解除する場合は、露出モードをMにしてください。

3D-マルチBL調光撮影



スピードライトが本発光を行う直前に、被写体の状況を判断するためのモニター発光を瞬時に行って、その測光結果とレンズから得られる距離情報とを併せて、調光対象領域と調光レベルを総合的に決定しますので、画面内に極端に反射率の高いものがあつたり、背景が大きく抜けていたりするような失敗しやすい撮影状況でも、主要被写体と背景の両方をバランスよくコントロールします。

…暗いところでの撮影はもちろん、日中でも補助灯として、スピードライトをご活用ください。

3D-マルチBL調光時は、ピントが合っている被写体までの距離情報を調光制御に利用しています。このため、ピントを合わせた後、フォーカスロックで構図を変えて、フォーカスフレーム内の被写体を変更した場合は、変更した被写体までの距離と、レンズから得られる距離情報とが異なる場合があります。

この差が著しく大きい場合は、フォーカスフレーム内の被写体には適正露出が得られないことがあります。

構図変更後（フォーカスフレーム内）の被写体を適正露出で撮影したい場合には、ピントを合わせ直すか、またはTTL調光に切り換えて撮影することをおすすめします。

マルチBL調光撮影

3D-マルチBL調光撮影時とほぼ同様の効果が得られます。

…距離情報が得られないため、撮影状況によっては正確な調光対象領域と調光レベルが得られない場合があります。

上記の3D-マルチBL調光とマルチBL調光を総称してマルチエリアBL調光と呼びます。

簡易TTL-BL調光撮影

中央部重点測光、またはスポット測光による測光結果をもとに、簡易的に調光レベルをコントロールします。

…モニター発光とレンズからの距離情報が得られないため、画面内に極端に反射率が高いものがあつたり、背景が大きく抜けていたりする撮影状況では、適正露出が得られない場合があります。

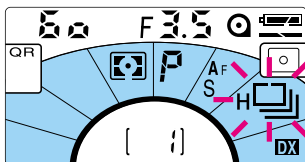
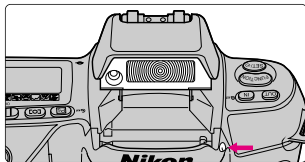
内蔵スピードライト撮影

撮影までの手順

1 スピードライトロック解除ボタンを押して、スピードライトを上げます。

内蔵スピードライト使用時は、フィルム給送モードを“**□**”または“**SL**”に設定してください。

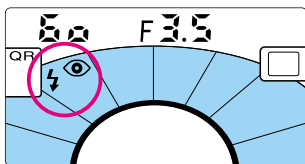
…“**□**”または“**H□**”に設定したままスピードライトを上げると、右のように設定してある“**□**”、“**H□**”の表示が点滅し、“**□**”で制御されます。



2 シンクロモードをセットします。

…各シンクロモードの設定方法と特徴は

☞ P.47~49



シンクロモードごとの注意事項

スローシンクロ

- ・露出モードは“**P**”または“**A**”にセットしてください。
- ・シャッタースピードが遅くなりますので、三脚の使用をおすすめします。
- ・イメージプログラムの夜景、動感モードでは、自動的にスローシンクロにセットされます。

後幕シンクロ

- ・露出モードは“**S**”または“**M**”にセットしてください。
- ・露出モードが“**P**”または“**A**”のときに後幕シンクロを設定すると、自動的にスローシンクロも同時に設定されます。
- ・シャッタースピードの設定によっては手ブレのおそれがありますので、三脚の使用をおすすめします。

3 露出モード、シャッタースピード、絞り値を確認します。

露出モードごとの、設定可能なシャッタースピードと絞り値は下表のとおりです。

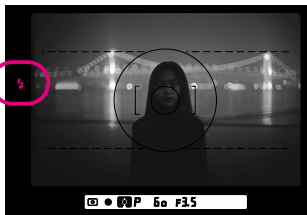
露出モード	設定可能なシャッタースピード	設定可能な絞り値	参照ページ
P (マルチプログラムオート) P _s (イメージプログラム)	カメラが自動設定	カメラが自動設定	☞ P.28 ☞ P.58
S (シャッター優先オート)	1/125秒～30秒 ^{*1}	カメラが自動設定	☞ P.54
A (絞り優先オート)	カメラが1/125～1/60秒に自動設定	任意の絞り値 ^{*2}	☞ P.55
M (マニュアル)	1/125秒～30秒 ^{*1} 、bulb	任意の絞り値 ^{*2}	☞ P.56

※1：1/125秒より高速のシャッタースピードにセットしてある場合は、内蔵スピードライトを上げると（別売りスピードライトの場合は電源をONにすると）、自動的に1/125秒にセットされます。このとき、ファインダー内にはシャッタースピード1/125が点灯し、外部表示パネルには撮影者がセットしたシャッタースピードが点滅します。

※2：調光範囲は使用フィルムのISO感度と絞り値によって決まります。AまたはMモード時の絞り値の設定は、P.80の調光範囲を考慮して行ってください。

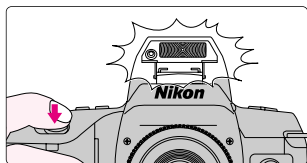
4 ファインダー内に⚡表示が点灯していることを確認します。

…S、Aモード時に、露出インジケータが表示された場合は ☞ P.81



5 調光範囲を確認して撮影します。

…調光範囲の確認方法は ☞ P.80



“⚡”表示が点滅した場合は

発光直後にレディライト“⚡”が約3秒間点滅した場合は、撮影距離、絞り値、調光範囲などを再度確認して、撮影し直してください。

調光範囲の確認方法

調光範囲の目安

使用するフィルムのISO感度と絞り値によって、調光範囲が異なります。
露出モードにかかわらず、ファインダー内に表示される絞り値に対する調光範囲を、下表から読み取って撮影してください。

ISO感度 < >内はガイドナンバー						調光範囲 (m)
25<7>	50<10>	100<14>	200<20>	400<28>	800<40>	
—	—	1.4	2	2.8	4	2~9.9
—	1.4	2	2.8	4	5.6	1.4~ 7
1.4	2	2.8	4	5.6	8	1~ 5
2	2.8	4	5.6	8	11	0.7~3.5
2.8	4	5.6	8	11	16	0.6~2.5
4	5.6	8	11	16	22	0.6~1.8
5.6	8	11	16	22	32	0.6~1.3
8	11	16	22	32	—	0.6~0.9

露出インジケーターが表示されたときには



スピードライト撮影時、ファインダー内に露出アンダーを示す露出インジケーターが表示されることがあります。露出計は定常光（背景光）に対する露出表示をしますので、そのまま撮影しても、主要被写体はスピードライト光で適正露出となります。ただし、遠い背景にはスピードライト光が届かないため、背景は適正露出が得られません。

主要被写体と背景の両方を適正露出にするには、以下の方法があります。

…いずれの方法も、シャッタースピードによっては手ブレのおそれがありますので、三脚の使用をおすすめします。

露出モードがMのとき

シンクロモードを“ $\frac{1}{2}$ SLOW”にセットすると、カメラまかせのスローシンクロ撮影が行えます。☞ P.49

…人物撮影時は赤目軽減スローシンクロ撮影をおすすめします。☞ P.47

露出モードがSまたはMのとき

背景が適正露出になるシャッタースピードと絞り値を設定することにより、手動によるスローシンクロ撮影が行えます。

内蔵スピードライト撮影—つづき—

調光補正機能を使う

撮影目的や撮影条件に合わせて、-3～+11段 (1/3ステップ) の調光補正ができます。

…背景が明るい場合は十側に、暗い場合は一側に補正するのが基本です。

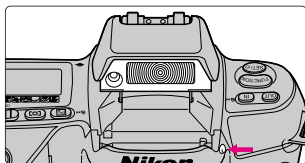
…この機能は外部スピードライトでも使用できます。

[調光補正の設定方法]

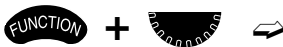
1 スピードライトを上げます。

*調光補正は、内蔵スピードライトを下ろしたままでは設定できません。

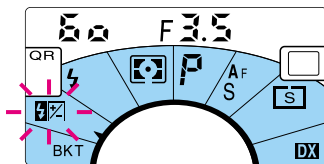
別売リスピードライト使用時は、別売リスピードライトの電源をONにすれば設定できます (OFFのままでは設定できません)。



2 調光補正エリアの表示を点滅させます。




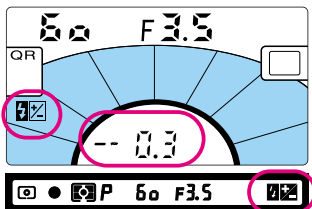
…セレクト表示を調光補正エリアに合わせて、右の表示を点滅させます。



3 補正量を設定します。



…調光補正が設定されると、ファインダー内と外部表示パネルに“”が点灯します。



[調光補正の解除方法]

設定時と同操作で補正量を0.0にセットするか、または内蔵スピードライトを下ろします (別売リスピードライト使用時は、別売リスピードライトの電源をOFFにします)。

SBブラケット機能を使う

背景の露出を変えずに、設定したステップで調光レベル（光量）のみを段階的にズラした撮影ができます。

撮影枚数は、設定した補正ステップでアンダー側1枚、適正1枚、オーバー側1枚の順に、計3コマ撮影となります。

…SBブラケットは、すべての露出モードとシンクロモードで可能です。

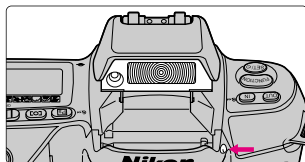
…この機能は外部スピードライトでも使用できます。

SBブラケットの設定方法

1 スピードライトを上げます。

*SBブラケットは、内蔵スピードライトを下ろしたままでは設定できません。

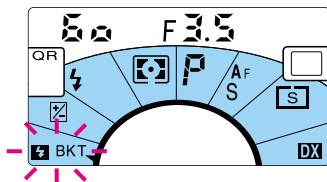
別売りスピードライト使用時は、別売りスピードライトの電源をONにすれば設定できます（OFFのままでは設定できません）。



2 SBブラケットエリアの表示を点滅させます。



…セレクト表示をSBブラケットエリアに合わせて、右の表示を点滅させます。

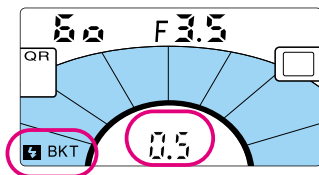


3 補正ステップを設定します。



…希望する下記の補正ステップを設定します。

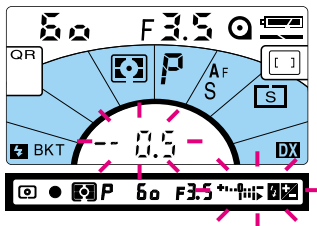
0.3 ←→ 0.5 ←→ 0.7 ←→ 1.0



SBブラケットング機能を使う—つづき—

…SBブラケットングが設定されると、ファインダー内と外部表示パネルに右の表示が点滅します。

…撮影中は、シャッターをきるごとに、外部表示パネルで次のコマでの補正值が確認できます。



SBブラケットングの解除方法

SBブラケットング撮影が完了すると、自動的に解除されます。

撮影完了前に解除する場合は、電源スイッチをOFFにするか、または内蔵スピードライトを下ろします（別売りスピードライト使用時は、別売りスピードライトの電源をOFFにします）。

- SBブラケットングで、通常の露出補正 (P.63) を併用した場合には、補正值が加算されます。
- 3コマのブラケットング撮影中に撮影フィルムが終端になった場合は、フィルムを交換すれば、残りのブラケットング撮影を続行できます。
- SBブラケットングとAEブラケットングは併用できません。最後に設定された方が有効となります。
- SBブラケットング設定後、ただちにセルフタイマー撮影を行った場合は、その間SBブラケットング設定状態が保留され、セルフタイマー撮影終了後、残りのブラケットング撮影を続行できます。

内蔵スピードライト撮影時に使えるAFニッコールレンズ

内蔵スピードライトには、28mmから300mmまでのAFズームニッコールレンズが使用できます。

- ・Dタイプ、Sタイプを問わず、同様に使用できます。
- ・レンズフードは取り外して使用してください。
- ・マクロ付きズームレンズはマクロ領域では使用できません。
- ・下記のズームレンズでは、ケラレが発生し、写真の周辺光量が低下しますので、使用できる焦点距離や撮影距離に制限があります。

使用可能なAFズームレンズ	注意していただきたいこと
AF-S17~35mm/f2.8	35mmの3m以上で使用可能
AF20~35mm/f2.8	35mmの0.8m以上で使用可能
AF24~50mm/f3.3~4.5	28mm以上で使用可能
AF24~120mm/f3.5~5.6	35mmの0.8m以上で使用可能
AF-S28~70mm/f2.8	50mmの1.2m以上で使用可能
AF28~85mm/f3.5~4.5	35mm以上で使用可能
AF28~200mm/f3.5~5.6	28mmの2m以内では使用不可
AF35~70mm/f3.3~4.5	35mmの1m以内は使用不可
AFマイクロ70~180mm/f4.5~5.6	85mmの0.8m以内は使用不可

使用可能なAF(単焦点)レンズ

- ・28mmから300mmまでのAFレンズが使用できます。
- ※ AF28mm/f1.4は、0.7m以上で使用可能。
- ※ AF300mm/f2.8 (AF-S、AF-Iレンズを除く) は、3.2m以上で使用可能。

…AFニッコール以外のレンズをご使用の場合は、P.86をご参照ください。

内蔵スピードライト撮影時に使えるAFニッコール以外のレンズ

200mm / f2レンズを除く、焦点距離が28mmから200mmまでのニッコールレンズ (Ai-S・Ai・改造Ai)、ニコンレンズシリーズEがご使用になれます。

下記のレンズには、使用上以下の制限があります。

区分	レンズ	注意していただきたいこと
Ai-S Ai	25～50mm / f4	40mm以上で使用可能 * (0.8m以内では使用不可)
Ai-S Ai	28～85mm / f3.5～4.5	35mm以上で使用可能 * 焦点距離35mmの1m以内では使用不可
Ai	35～70mm / f3.5	* 焦点距離28mmの1m以内では使用不可
Ai改	50～300mm / f4.5	200mm以上で使用可能
Ai-S Ai	50～300mm / f4.5	135mm以上で使用可能
Ai	80～200mm / f2.8	105mm以上で使用可能
Ai改	80～250mm / f4	135mm以上で使用可能

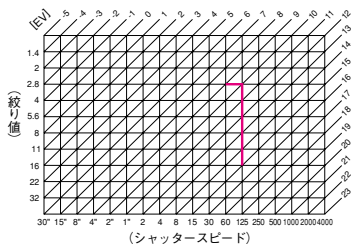
スピードライト使用時の露出制御図

代表例として、AFニッコール50mmF1.4Sを装着し、ISO100のフィルムを使用した場合を示します。

先幕シンクロ時

(AF50mmF1.4S、ISO100の場合)

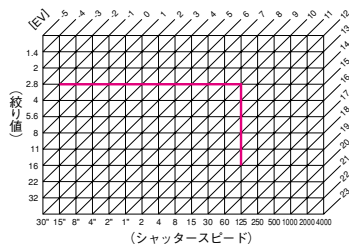
プログラムオート (P)



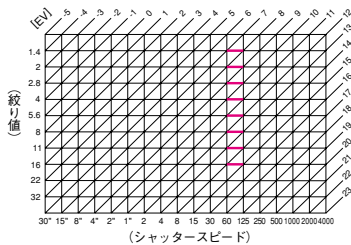
スローシンクロ時

(AF50mmF1.4S、ISO100の場合)

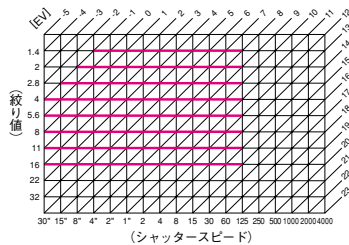
プログラムオート (P)



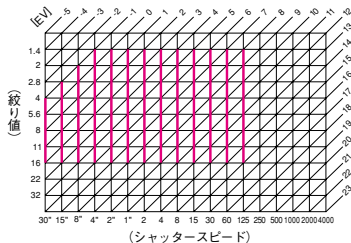
絞り優先オート (A)



絞り優先オート (A)



シャッター優先オート (S)



使用可能な別売りスピードライトと可能な撮影

使用できる別売りスピードライトと可能な撮影は下表のとおりです。

●内蔵スピードライトと別売りスピードライトを同時に使用することはできません。

装着レンズ欄の①はDタイプAFレンズ、②はDタイプ以外のAFレンズ (F3AF用を除く)、Ai-Pレンズ③はCPU内蔵以外のレンズを示します。

スピードライト (接続方法)	区分 装着レンズ	TTL				A	M	☼☼☼	REAR	☒
		3D-マルチ BL調光	マルチBL 調光	簡易TTL -BL調光	TTL調光	外部自動 調光	マニュアル	マルチ フラッシュ	後幕 シンクロ ※1	スレーブ 発光 ※2
SB-28 (コードレス)	①	○			○	○	○	○	○	
	②		○		○	○	○	○	○	
	③			○	○	○	○	○	○	
SB-27 (コードレス)	①	○			○	○	○	○	○	
	②		○		○	○	○	○	○	
	③			○	○	○	○	○	○	
SB-26 (コードレス)	①	○			○	○	○	○	○	○
	②		○		○	○	○	○	○	○
	③			○	○	○	○	○	○	○
SB-25 (コードレス)	①	○			○	○	○	○	○	○
	②		○		○	○	○	○	○	○
	③			○	○	○	○	○	○	○
SB-24 (コードレス)	①②		○		○	○	○	○	○	
	③			○	○	○	○	○	○	
	①②③				○	○	○	○	○	
SB-23 SB-21B (コードレス)	①②		○		○	○	○	○	○	
	③			○	○	○	○	○	○	
	①②③				○	○	○	○	○	
SB-22s SB-22 SB-20 SB-16B SB-15 (コードレス)	①②		○		○	○	○	○	○	
	③			○	○	○	○	○	○	
	①②③				○	○	○	○	○	
SB-11 SB-14 (※3) SB-140	①②		○		○	○	○	○	○	
	③			○	○	○	○	○	○	

※1：SB-26、25、24使用時の後幕シンクロの設定は、スピードライト側の設定が優先されます (SB-26、25、24以外は、カメラ側で設定します)。

※2：SB-26使用時にワイヤレススレーブセクターをDにした場合、カメラのシャッタースピードは自動的に1/100秒に切り換わります。

●SB-28、27、26使用時は赤目軽減発光および赤目軽減スローシンクロが可能です。

●SB-21使用時のオートフォーカス撮影は、AFマイクロ (60mm、105mm、200mm、70～180mm) レンズ装着時のみ可能です。

※3：SB-11、14、140を使用してTTLモードを使用する場合は、接続にTTL調光コードSC-23が必要です。

AモードまたはMモードを使用する場合は、SB-11、14にはSC-13にSU-2を、SB-140にはSC-13にSU-3を併用するか、AS-15にSC-11かSC-15を併用して接続します。

●SB-140使用時の紫外線および赤外線撮影は、SB-140がMモード時のみ可能です。

●詳細については、ご使用になる各スピードライトの使用説明書をご覧ください。

別売リスピードライト使用時の主な注意事項

- スピードライト使用時の同調シャッタースピードは1/125秒以下です。
…メディカルニッコール120mmF4をご使用の場合は、1/100秒以下に設定してください。
- TTLモード時のフィルム感度連動範囲はISO25～1000です。
- SB-26、25、24使用時、シンクロモードの設定はスピードライト側の設定が優先されます（カメラ側の設定は無効になります）。
- 赤目軽減発光と赤目軽減スローシンクロは、SB-28、27、26使用時のみ可能です。
※SB-28、27、26以外の別売リスピードライトを使用して、赤目軽減発光、または赤目軽減スローシンクロを設定すると、カメラの外部表示パネルに下記の表示が点滅して警告します。
 - ⚡👁️：赤目軽減発光を設定した際の警告表示
この場合でも、通常の先幕シンクロによる撮影は行えます。
 - ⚡SLOW👁️：イメージプログラムの夜景・動感モードで赤目軽減発光を設定した際の警告表示
イメージプログラムの夜景、および動感モードでは、スローシンクロも自動的に設定されます。
この場合でも、スローシンクロ撮影は行えます。
 - ⚡SLOW👁️：赤目軽減スローシンクロを設定した際の警告表示
この場合でも、スローシンクロ撮影は行えます。
- TTLモード以外に設定してスピードライト撮影するは、露出モードをAまたはMに設定してください。

- 露出モードがマルチプログラムオートのと看、カメラが自動設定する開放側の限界絞り値は、使用するフィルム感度によって、下表のように制御されます。

フィルム感度 (ISO)	25	50	100	200	400	800	1000
開放側の限界絞り値 (F)	2.8	3.3	4	4.8	5.6	6.7	7.1

- ※ISO1段に対し、絞りは1/2段変化します。また、フィルム感度が表の中間値の場合も、上下のフィルム感度から比例的に変化します。
なお、制御される絞り値よりも開放F値の方が暗い場合は、装着レンズの開放側のF値によって制御されます。

他社製のスピードライトについて

- 他社製のスピードライト（カメラのX接点に250V以上の電圧がかかるものや、アクセサリースュー部の小さな接点に複数の接点が触れてしまうもの）を使用しないでください。
…カメラの正常な機能が発揮できないだけでなく、カメラおよびスピードライトのシンクロ回路を破損することがあります。

参 考

カメラの手入れと取り扱いについて

カメラを末永くご使用いただくために、普段から心掛けていただきたい、取り扱い上の注意や、お手入れの方法などをまとめてあります。

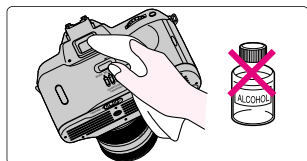


使用禁止

シンナーやベンジンなどの有機溶剤をカメラの清浄に使用しないこと

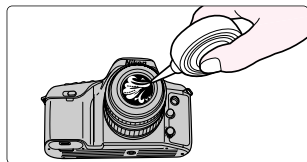
火災や健康障害の原因となります。
製品を破損します。

■ カメラ本体を手入れする際の注意



- カメラ本体のお手入れは、ブローアードゴミやホコリを軽く吹き払った後、柔らかい清潔な布で軽く拭いてください。
特に、海辺で使った後は、真水を数滴たらした柔らかい清潔な布で塩分を拭き取ってから、乾いた布で軽く拭いて乾かしてください。

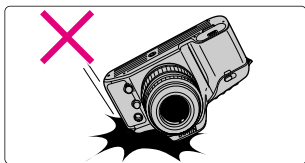
■ ミラーやレンズを手入れする際の注意



- レンズやミラーにゴミやホコリが付いているときは、キズが付きやすいので、ブローアードゴミやホコリを軽く吹き払う程度にしてください。
レンズに万一指紋などが付いてしまった場合は、柔らかい清潔な布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせ、軽く拭き取ってください。

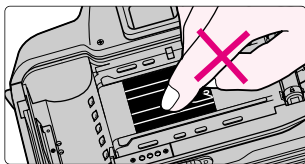
カメラの手入れと取り扱いについて

■ 強いショックを与えないでください。



- カメラおよびレンズを落としたり、ぶついたりしないように注意してください。強い衝撃や振動を加えますと、破損したり精密に調整された部分に悪影響を及ぼします。

■ シャッター幕に触れないでください。



- シャッター幕は非常に薄い幕でできていますので、押さえたり、突いたり、ブローアなどで強く吹くなどは、絶対にしないでください。シャッター幕のキズ、変形、破損などの原因となります。

■ 強い電波や磁気を発生する場所は避けてください。

- テレビ塔のような強い電波や磁気の発生する場所では、カメラが正常に作動しなくなることがありますので注意してください。

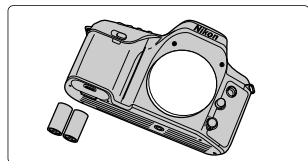
カメラの手入れと取り扱いについて—つづき—

■ 極端な温度変化は避けてください。

温度差が極端となる所（寒い所から急に暖かい所や、その逆となる所）にカメラを持ち込むと、カメラの内外に水滴を生じます。

…カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてからご使用ください。

■ 保管する際は電池を取り出し、乾燥剤といっしょにしてください。



長期間カメラを使用しないときは、電池の液漏れなどからカメラを保護するために、カメラから電池を取り出して保管してください。

…保管する際は、カメラをポリエチレン袋などに乾燥剤といっしょに入れておくとうり安全です。ただし、皮ケースをビニール袋に入れておくと、変質することがありますので避けてください。

…乾燥剤（シリカゲル）は湿気を吸って効力がなくなりますので、ときどきとりかえてください。

…カメラを長期間使用しないまま放置しておくと、カビや故障の原因となることがありますので、1か月に1度を目安に電源を入れて、数回シャッターをきってください。

■ 風通しの良い場所に保管してください。

カビや故障などを防止するために、風通しのよい乾燥した場所を選んでカメラを保管してください。

…ナフタリンや樟脳の入ったタンスの中、磁気を発生する器具のそば、極度に高温となる夏の車内、使用しているストーブの前などにカメラを置かないでください。故障の原因になります。



放置禁止

電池は幼児の手の届かないところにおくこと

万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

- カメラを長期間使用しないときは、カメラから電池を取り出して、高温、多湿となる場所を避けて保管してください。

■電池を入れるときは、カメラの電源をOFFにしてください。

- 電池を入れるときは、カメラの電源スイッチをOFFにしてから、 \oplus \ominus を間違いのないよう正しく入れてください。
…付属の電池は購入時の作動テスト用ですので、寿命が短い場合があります。

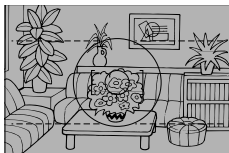
■低温時には新しい電池を使用してください。

- 低温時に消耗した電池を使いますと、カメラが作動なくなることがあります。低温時に撮影する場合は、新しい電池を使用し、保温した予備の電池を用意して暖めながら交互に使用してください。
- …低温時は、常温時より巻き上げ速度や撮影可能本数も低下します。低温のために、一時的に性能が低下して使えなかった電池でも、常温に戻ると使える場合があります。

オートフォーカスでピントが合わないときは

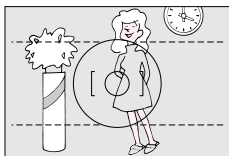
下記のような被写体には、オートフォーカスでピント合わせができない場合があります。この場合は、ファインダー内に▶ ◀表示が点滅しますので、点滅したときは、マニュアルでピントを合わせるか (P.44)、または以下の方法でピント合わせをしてください。

被写体が非常に暗い場合



- ・別売りのスピードライト (P.97) 使用時には、アクティブ補助光を利用してオートフォーカスによるピント合わせが可能です。

明暗差がはっきりしない場合 (白壁や背景と同色の服をきている人物等)

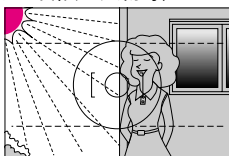


フォーカスフレーム内に遠いものと近いものが混在する被写体 (オリの中の動物や木の前の人物等)



- ・スポットフォーカスエリアに切り換えて、フォーカスロック (P.60) でピント合わせをしてください。

フォーカスエリア内の被写体の輝度差が著しく異なる場合 (太陽が背景に入った日陰の人物等)



スピードライト (SB-28・27・23・22s)

いずれのスピードライト (SB-28・27・23・22s) を使用した場合でも、暗い所でもオートフォーカスによるピント合わせが可能となるアクティブ補助光を内蔵しています。

SB-28・27使用時には、被写体の状況を判断するためのモニター発光やDタイプレンズから得られる距離情報をあわせて調光対象領域と調光レベルを決定する3D-マルチBL調光により、主要被写体と背景の両方に適正露出が得られるスピードライト撮影が存分にお楽しみいただけます。

…F70Dには、このほかP.88に掲載の各種スピードライトをご使用いただけます。

接眼補助レンズ

近視、遠視の方のための補助レンズで、カメラの接眼部に取り付けるだけで簡単に装着できます。F70D用として、次の9種類が用意されています。

-5	-4	-3	-2	0	+0.5	+1	+2	+3
----	----	----	----	---	------	----	----	----

…いずれもボディとの合成視度で、補助レンズ単体の視度ではありません。
視度補正は個人差が大きいため、店頭で実際に装着してお選びください。

専用セミソフトケース

このカメラには2種類の専用ケースが用意されています。

- ・CF-51：AF28～70mm・f3.5～4.5Dレンズを装着したまま収納できます。
- ・CF-52：AF35～135mm・f3.5～4.5Sレンズを装着したまま収納できます。

F70Dに使用できるレンズについて

モード レンズ	フォーカスモード			露出モード				測光モード		
	オートフォーカス	フォーカスエイド	マニュアル	P Ps	S	A	M	マルチパターン測光		中央部重点測光 スポット測光
								3D-8分割	8分割	
CCP P P N i C C O O L R L	DタイプAFレンズ	○	○	○	○	○	○	○	—	○
	PCマイクロ85mmF2.8D※1	—	○※2	○	—	—	○	○	—	○
	AF-Iテレコンバーター	○※3	○※3	○	○	○	○	○	—	○
	Dタイプ以外のAFニッコール (F3AF用を除く)	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	Ai-Pニッコール	—	○※4	○	○	○	○	—	○	○
CCP P P N i C C O O L R L 以 外 の レ ン ズ	Ai-S、AiシリーズEレンズ 改造Aiニッコール	—	○※4	○	—	○	○	—	—	○
	メディカル120mmF4	—	○	○	—	—	○※5	—	—	—
	レフレックスレンズ ※6	—	—	○	—	—	○	○	—	○
	PCニッコール ※6	—	○※2	○	—	—	○※7	○※7	—	○
	Ai-S、Aiテレコンバーター	—	○※3	○	—	—	○	○	—	○
	ペローズPB6Kリング (1.3.4.5)	—	○※3	○	—	—	○※8	○※8	—	○
	オート接写リング (PK-11A.12.13.PN-11)	—	○※3	○	—	—	○	○	—	○

- ※1. カメラの測光モード、および調光制御機能は、あおり操作（シフト、ティルトとも）を行っているとき、または開放絞り以外に絞りがセットされているときには、正しく機能しません。
- ※2. あおり操作を行っていない場合のみ可能。
- ※3. 合成F値がF5.6以上明るい場合は使用可能。
- ※4. 開放F値がF5.6以上明るい場合は使用可能。
- ※5. Mモードで1/100秒以下の低速シャッタースピードに設定すれば使用可能。
- ※6. 一部装着不可能なレンズ（※P.99）があります。
- ※7. 絞り込み測光で使えます（Aモードの場合はレンズ側で絞りプリセットを行い、AE-L後アオリを行ってください/Mモードの場合はレンズ側で絞りプリセットを行い、アオる前に測光して露出を決定してください）。
- ※8. 絞り込み測光で使用可能（PB-6の場合、ペローズ側で絞り込みを行い、測光後シャッターをきってください/Kリングの場合は自動的に絞り込み測光となります）。

F70Dに使用できるレンズについて

CPU内蔵ニッコール以外のレンズ装着時には

- ・ファインダー内と外部表示パネルの絞り値表示はF-表示となります。
…絞り値の設定と確認は、レンズの絞りリングで行ってください。
- ・使用可能な露出モードと測光モードに制限があります。
…露出モードはMまたはn、測光モードは中央部重点測光またはスポット測光に設定してください。これ以外に設定した場合は、設定してある露出モードと測光モード表示が点滅して警告するとともに、露出モードをM、測光モードを中央部重点測光に自動的に切り換えて制御します。
- ・Pモード時はシャッターがきれません。

■CPU内蔵ニッコール以外の下記のレンズは使用できません。

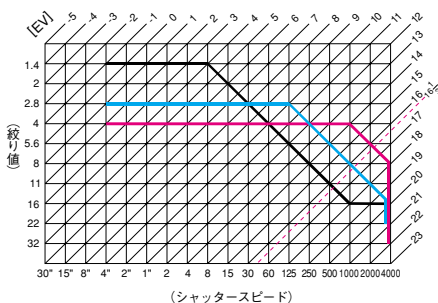
- ・AFテレコンバーターTC-16AS
- ・Ai改造をしてないニッコールレンズ（Ai方式以前の連動爪を使用するタイプ）
- ・フォーカシングユニットAU-1を必要とするレンズ（400mmF4.5 600mmF5.6）
- ・フィッシュアイ（6mmF5.6 OP10mmf5.6）
- ・ED180～600mmF8（No.174166以前の製品）
- ・ED360～1200mmF11（No.174087以前の製品）
- ・200～600mmF9.5（No.300490以前の製品）
- ・F3AF用（80mmF2.8 200mmF3.5 テレコンバーターTC-16S）
- ・PC28mmF4（No.180900以前の製品）
- ・PC35mmF2.8（No.906200以前の製品）
- ・レフレックス1000mmF11（製品No.142361～143000）
- ・レフレックス2000mmF11（No.200310以前の製品）

プログラム線図

このカメラのマルチプログラムオート (P) では、使用するレンズの焦点距離や開放絞り、および最小絞りなどに応じて最適なプログラム線を選び、シャッタースピードと絞りを自動的に制御します。

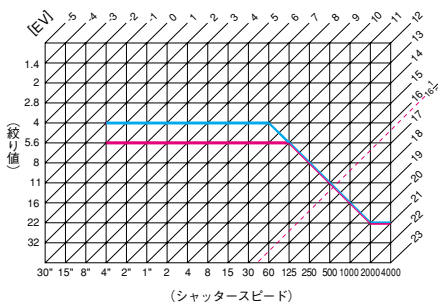
したがって、プログラム線図は使用するレンズによっても異なります。

- は50mmf1.4を使用した場合
- は180mmf2.8を使用した場合
- は300mmf4を使用した場合



35~80mmf4~5.6を使用した場合

- は35mmf4時
- は80mmf5.6時

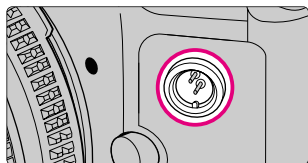


※フィルム感度に応じた測光範囲により、EV値の両端に制限があります。上図のプログラム線図は、いずれもISO100の場合です。

※マルチパターン測光では、ISO100のとき $16\frac{1}{3}$ を越えるEV値では、すべて $16\frac{1}{3}$ として制御されます。

リモートコードの接続（2ピンターミナル）

別売りの下記製品を2ピンターミナルに接続すると、遠隔撮影などが行えます。
2ピンターミナルに接続するアクセサリーは、大別すると以下の2種類があります。



半押しタイマーをONにする機能のあるもの









- リモートコードMC-12A/B
 - リモートコードMC-20/22（変換コードMC-26併用）
 - ラジオコントロールセットMW-2
 - インターバロメーターMT-2
 - ルミコントロールML-2
 - ダブルリリースAR-10 など
- …半押し操作（MT-2ではパルスディレイ）によるAFレンズの駆動が可能です。

半押しタイマーをONにする機能のないもの

- ターミナルシャッターMR-3
 - リモートコードMC-4A
 - グリップコードMC-3A
 - ラジオコントロールセットMW-1
 - ルミコントロールML-1 など
- …コンティニューアスAFサーボモードは使用できません。






故障かな？と思ったら

外部表示パネルおよびファインダー内に下記の警告表示が点灯または点滅した場合は、修理やアフターサービスをお申し付けになる前に下記の点をご確認ください。


こんなとき		ここを確かめてください		参照 ページ
外部表示パネル	ファインダー内			
 (点滅)	 (点滅)	●レンズの絞りリングが最小絞りになっていません。	●レンズの絞りリングを最小絞りにしてください。	P.18
 (点滅)		●電池容量がわずかです。	●予備の電池を用意してください。	P.21
 または  と  (点滅)	 (点滅)	●電池が消耗しています。	●電池を交換してください。	P.21
ISO  と  (点滅)	 (点滅)	●フィルム感度が自動設定(DX)になっていて、DXマーク付以外のフィルムが入っています。	●手でフィルム感度を設定してください。	P.74
 と  (点滅)	 (点滅)	●フィルムが正しく送られていません。	●フィルムを取出して入れ直してください。	P.27
 (点滅)		●フィルム巻き戻し完了直後に数回点滅します。 ●DXマーク付フィルム使用時は、フィルム巻き戻し完了後、フィルムを取り出さずにおくと、シャッターボタンを押すたびに、半押しタイマーONの間点滅します。	●フィルムを取出してください。	P.31 P.32
 と  (点滅)	 (点滅)	●フィルム巻き戻しの途中で裏ぶたが開けられました。	●裏ぶたを閉じて、再度巻き直し操作をしてください。	P.32
 または  (点滅)		●フィルム給送モードを  または  にしたまま、内蔵スピードライトが上げられました。	●内蔵スピードライト使用時はフィルム給送モードを  または  に設定してください。 ●そのまま撮影しても  で制御されます。	P.78

故障かな？と思ったら

□ の場合は、シャッターがきれなくなります。






こんなとき		ここを確かめてください		参照 ページ
外部表示パネル	ファインダー内			
A-F-S または A-F-C (点滅)		●AFニッコール以外のレンズが装着されているか、またはレンズが装着されていません。	●オートフォーカスは使えません。フォーカス切り換えダイヤルをMにしてご使用ください。	P.44 P.98
	  (点滅)	●オートフォーカスでピント合わせができません (A-F-S時のみシャッターがきれなくなります)。	●マニュアルでピント合わせを行ってください。	P.43
	 (点灯)	●装着レンズの最短撮影距離よりも被写体に近づきすぎています。	●被写体から、もっと離れて撮影してください。	P.43
 (点滅)	 (点滅)	●CPU内蔵ニッコール以外のレンズを装着してマルチパターン測光に設定されているか、またはレンズが装着されていません。	●そのままでも撮影可能ですが、測光モードを中央部重点測光かスポット測光にご使用ください。	P.98
P/P_s/S (点滅)	P/P_s/S (点滅)	●CPU内蔵ニッコール以外のレンズを装着して露出モードがP・P _s ・Sに設定されているか、またはレンズが装着されていません。	●そのままでも撮影可能ですが、露出モードをMまたはHにしてご使用ください。 ※P _s モード時はシャッターがきれなくなります。	P.35 P.98 P.99
H I (点灯)	H I 露出インジケータ (点灯)	●被写体が明るすぎてカメラの制御範囲を超えています。	●Sモード時はシャッタースピードをより高速側にセットしてください。 ●Mモード時はより大きい数値の絞り値にしてください。 ●その他、NDフィルターを使用してください。	P.59
L O (点灯)	L O 露出インジケータ (点灯)	●被写体が暗すぎて、カメラの制御範囲を超えています。	●Sモード時はシャッタースピードをより低速にセットしてください。 ●Mモード時はより小さい数値の絞り値にしてください。 ●その他、スピードライトを使用してください。	P.59

故障かな？と思ったら一つづきー

こんなとき		ここを確かめてください		参照 ページ
外部表示パネル	ファインダー内			
	露出インジケータ (点滅)	●Mモード時、被写体が明るすぎたり暗すぎたりしてカメラの測光限界を超えています。	●十側で点滅の場合、NDフィルターを使用してください。 ●一側で点滅の場合、スピードライトを使用してください。	P.59
	露出インジケータ (点灯)	●スピードライト使用時、露出計は背景光に対する露出状態を示しています。	●Mモードのとき、シンクロモードをSLOWにして、カメラまかせのスローシンクロ撮影を行ってください。 ●SまたはMのとき、背景が適正露出になるシャッタースピードと絞り値を設定して手動によるスローシンクロ撮影を行ってください。	P.81
制御されるシャッタースピード (点滅)	制御されるシャッタースピード (点滅)	●露出モードがMのとき、AEブラケティングを設定すると点滅して知らせます。	●そのまま撮影してください。	—
1/160～ 1/4000秒の シャッタースピード (点滅)	125 (点灯)	●露出モードがSまたはMで、シャッタースピードが同調スピード(1/125秒)より高速にセットされています。	●シャッタースピードは、自動的に1/125秒で制御されます。	P.79
	 (緑色点灯)	●被写体が暗いのでスピードライトの使用をすすめています。	●内蔵スピードライトを使用してください。	P.76
	 (赤色点滅)	●発光直後の点滅は、フル発光の露出不足の警告です。	●撮影距離、絞り値、調光範囲などを再度確認して、撮影し直してください。	P.79
	1/50秒 以下の シャッタースピード (点滅)	●露出モードがP/Ps/Mのとき、シャッタースピードが1/50秒より低速になると点滅して、手ブレを警告します。	●P、Psのとき：三脚を使って撮影するか、スピードライト撮影を行ってください。 ●Mのとき：より小さい数値の絞り値にし、それでも点滅が続くときは、三脚を使って撮影するか、スピードライト撮影を行ってください。	P.59

故障かな？と思ったら一つづきー

□ の場合は、シャッターがきれなくなります。

こんなとき		ここを確かめてください		参照 ページ
外部表示パネル	ファインダー内			
 (点滅)	 (点灯)	●スピードライト撮影時は、自動的にスポットフォーカスエリアに切り換わります。	●そのまま撮影してください。	P.76
 (点滅)		●SB-28・27・26以外の別売リスピードライト使用時に、赤目軽減発光が設定されています。	●SB-28・27・26以外の別売リスピードライト使用時は、赤目軽減発光はできません。	P.48 P.88
 (点滅)		●SB-28・27・26以外の別売リスピードライト使用時に、赤目軽減スローシンクロ、または、イメージプログラムの夜景、および動感モードのまま赤目軽減発光が設定されています。	●SB-28・27・26以外の別売リスピードライト使用時は、赤目軽減発光スローシンクロはできません。	P.48 P.88 P.89
	露出インジケータと  (点滅)	●AEまたはSBブラケティングが設定されています。	●次に撮影されるコマが十側か補正なしか一側かを露出インジケータが点滅して知らせます。	P.64 P.83
bulb (点滅)	bulb (点滅)	●シャッタースピードがbulbに設定してあるときに露出モードをMにすると、点滅して知らせます。 ●シャッタースピードがbulbに設定してあるときに、AEブラケティングを設定すると点滅して知らせます。	●bulb以外のシャッタースピードにするか、露出モードをMにしてください。 ●bulb以外のシャッタースピードにしてください。	P.54 P.56 P.65

電子制御カメラの特性について

きわめて稀なケースとして、外部表示パネルに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路内部に侵入したことが考えられます。万一このような状態になったときは、電源スイッチをOFFにして電池を入れ直し、電源スイッチをONにしてカメラを作動させてみてください。

アフターサービスと保証について

■この製品についてのお問い合わせは

ご意見、ご質問は最寄りのニコンサービスセンター、サービスステーション等、当社サービス機関へお寄せください。

●当社サービス機関につきましては、使用説明書裏面をご参照ください。

■修理を依頼される場合は

ご購入店、または当社サービス機関にご依頼ください。

●ご購入店、ご贈答品などでご購入店に修理を依頼することができない場合は、最寄りの販売店、または当社サービス機関にご相談ください。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後10年間を目安としています。

●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。

なお、部品保有期間経過後におきましても、修理可能な場合もありますので、ご購入店、または当社サービス機関へお問い合わせください。

●水没、火災、落下等による故障、または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。

なお、この故障または破損の程度の判定は、当社サービス機関にお任せください。

製品の保証について

① この製品には「保証書」がついていますのでご確認ください。

② 保証書はお買い上げの際、ご購入店からお客様に直接お渡しすることになっています。

「ご愛用者氏名」および「ご住所」「購入年月日」「購入店名」がすべて記載された保証書をお受け取りになり、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

③ 保証規定による保証修理は、ご購入日から1年間となっております。

「保証書」をお受け取りにありませんと、上述の保証修理がお受けになれないこととなりますので、もしお受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

④ 海外での保証内修理は領収書の提示を求められることがありますので、保証書とともに領収書の携行をお願い致します（領収書のない場合は有料となる場合があります）。

⑤ 保証期間経過後の修理は、原則として有料となります。また、運賃諸掛かりはおお客様にご負担願います。

⑥ 保証期間中や保証期間経過後の修理、故障など、アフターサービスについてご不明なことがございましたら、ご購入店、または当社サービス機関へお問い合わせください。

目次

測光関係

3D-8分割マルチパターン測光	108
中央部重点測光	108
スポット測光	108

露出制御関係

マルチプログラムオート	108
シャッター優先オート	108
絞り優先オート	108
マニュアル露出	109
イメージプログラム	109
プログラムシフト	109
AEロック	109
EV値	109
露出補正	109
AEブラケットイング	109

フォーカス制御関係

シングルAFサーボ	110
コンティニューアスAFサーボ	110
予測駆動フォーカス	110

レンズ関係

焦点距離	110
Fナンバー	110
被写界深度	110
ケラレ	111
Dタイプレンズ	111
距離信号	111

スピードライト関係

マルチエリアBL調光	111
3D-マルチBL調光	111
マルチBL調光	111
モニター発光	112
簡易TTL-BL調光	112
TTL調光	112
スローシンクロ	112
先幕シンクロ	112
後幕シンクロ	112
ガイドナンバー	112
調光範囲	113
同調速度	113
調光補正	113
SBブラケットイング	113

フィルム関係

DXフィルム	113
--------------	-----

[測光]

3D-8分割マルチパターン測光

撮影画面を8分割したエリアで測光し、それぞれのエリアで得られる被写体の輝度、輝度差にDタイプレンズからの撮影距離情報が加わった3つの情報に基いて適正露出を決定する測光方式。被写体の明暗が大きい逆光シーンなどでも、適正露出が得られる確率をより高めています。・・・Dタイプ以外のAFニッコールレンズ装着時は撮影距離情報を得られませんので、8分割マルチパターン測光となります。

中央部重点測光

ファインダー画面全体の明るさを測光しながら、特にファインダー中央部(φ12mmの円内)に重点をおいて露出値を決定する測光方式。光の状況や撮影意図に応じて、ファインダー中央部の露出を中心に撮影したい場合などに適しています。

スポット測光

ファインダー中心部(φ3mmの円内)のみを測光して、露出値を決定する測光方式。逆光やコントラストの差が大きい状況などで、被写体の特定の部分のみの露出を基準に撮影したい場合などに適しています。

[露出制御]

マルチプログラムオート

適正露出を得るための絞りとシャッタースピードの組み合わせをカメラが自動的に決定するプログラムオートの一つで、プログラム線を2つ以上持つものをいいます。レンズの焦点距離に応じて複数のプログラムを使い分け、最適な露出を提供します。

シャッター優先オート

撮影者がシャッタースピードを決めて設定しておく、それに対応した絞り値をカメラが自動的にコントロールして露出制御するAE方式。速いシャッタースピードで動く被写体を静止したようにとらえる撮影や、遅いシャッタースピードで被写体をブラしたり、背景を流したりして被写体の動きを強調するといった撮影に最適です。

絞り優先オート

撮影者が絞り値を決めて設定しておく、その絞り値に対応した適正露出となるシャッタースピードをカメラが自動的に制御するAE方式。被写界深度を考慮して、絞りを絞り込んで手前から奥まで鮮明に写す、あるいは、絞りを開いてバックをボカして主要被写体を強調するなどの撮影に最適です。また、スピードライト撮影時には、絞り値の選択によってスピードライトの調光範囲を選ぶこともできます。

マニュアル露出

自動露出（AE）に対することばで、シャッタースピードと絞り値の両方を撮影者が手動でセットする方法です。撮影状況や表現意図に合わせて自分のイメージを思いのままに表現したり、被写体の状況に応じて意図的に露出をコントロールでき、撮影者の意図を最も反映させることのできるモードです。

イメージプログラム

プログラムオートの種類で、撮影シーンに合わせて最適な結果が得られるように組まれたプログラムの総称。撮影者は用途別のイメージプログラムの中から目的のものを選択するだけで、あとはシャッタースピードを重視したり、絞り効果を生かすなど、各モードに合った露出制御をカメラが自動的に行います。F70Dには、8種のイメージプログラムが搭載されています。

プログラムシフト

マルチプログラムオート、またはイメージプログラムで撮影中、プログラムによるシャッタースピードと絞り値の組み合わせが、撮影目的に合わないとき、露出値は一定のまま、シャッタースピードと絞り値の組み合わせが選択できる機能。この機能により、PまたはPsモードに設定したまま、すばやくシャッター優先オートや、絞り優先オートの使い方ができます。

AEロック

測光した露出値をカメラに記憶させる機能。被写体の特定の部分や、別の対象を測光し、その露出値を固定したまま構図を変えて撮影することができます。

EV値

Exposure Valueの略。ISO100、絞りF1、シャッタースピードが1秒のときをEV0とし、絞りを1段絞るか、シャッタースピードを1段速くするごとにEV値も1段ずつ増えていくように定めた露出値を示す1つの表示方法。EV値は、カメラの露出計で測定できる明るさの範囲がEV1～EV19などと表記され、カメラのファインダー内などに表示される絞りとシャッタースピードは測定されたEV値を満たす組み合わせになります。

露出補正

強い逆光撮影時などで、カメラが表示した露出値に対して意図的に修正を行い、撮影意図に合った露出が得られるよう補正することをいいます。F70Dでは±5段（1/3ステップ）の範囲で露出補正が可能です。

AEブラケットイング

適正露出を得るために、同一シーンの露出を段階的に変化させて、自動的に複数枚の撮影を行う自動段階露出機能。AEブラケットイングでは、シャッタースピードや絞り値を変化させて露出の補正を行います。

[フォーカス制御]

シングルAFサーボ

AF（オートフォーカス）の作動状態を表わすことばで、AFが作動して被写体にピントが合うと、レンズ駆動を停止するAFの作動方式。この方法では、シャッターボタンの半押し操作で合焦表示の点灯によりフォーカスロックがかかるため、静止被写体に便利です。

コンティニューアスAFサーボ

AF（オートフォーカス）の作動状態を表わすことばで、AFが作動して被写体にピントが合ってもフォーカスロックせずに、被写体の動きに応じて常にピントを追いつけるAFの作動方式。動きの速い被写体に対しては予測駆動フォーカスとの組み合わせでより効果を発揮します。

予測駆動フォーカス

移動する被写体の動く速さを計測して、その速さから次に移動する被写体の位置を予測してピント合わせをするAFの駆動方式。動く被写体に対してより精度の高いピントが得られます。

[レンズ]

焦点距離

無限遠にピントを合わせたときのレンズの主点から焦点面までの距離をいいます。例えば標準レンズには50mmF1.4などと表記されていますが、50mmと表示されているこの数値がレンズの焦点距離を示します。また、レンズにはピントが変わることなく連続的に焦点距離を変えられるズームレンズもあります。

Fナンバー

F値ともいい、レンズの明るさを示す値で、レンズの焦点距離を有効口径で割った数値のことです。配列は、1、1.4、2、2.8、4...のように表記され、この数値は1を基準に $\sqrt{2}$ を順にかけていった数値で、数値が大きくなるにしたがって暗くなります。また、レンズの一番小さい数値の絞り値を開放絞りといい、一番大きい数値の絞り値を最小絞りといいます。

被写界深度

ある一点にピントを合わせると、その前後にもピントが合う範囲があります。このピントの合う範囲を被写界深度といい、ピントの合う範囲が広いときに「被写界深度が深い」、狭いときに「被写界深度が浅い」といいます。被写界深度は撮影距離、レンズの焦点距離、絞り値などによって変化します。

ケラレ

レンズにつけるフードの先端やフィルター枠などにより、レンズに入射する光が遮られ、撮影画面の周辺部が写らなかったり、光量不足になる現象。

Dタイプレンズ

DはDistance（距離）の略号で、距離信号を備えたレンズのこと。F70DとDタイプレンズの組み合わせで、8分割マルチパターン測光に距離情報が加わった3D-8分割マルチパターン測光となり、より正確な露出が得られます。また、スピードライト撮影時の3D-マルチBL調光も、距離情報を取り入れてより高度な調光制御を可能にしています。Dタイプレンズは製品名のF値の後にDの符号が付されて区別されます。

距離信号

Dタイプレンズは、被写体までの距離情報をボディに伝達する機能を備えています。この距離情報の伝達によって3D-マルチパターン測光や3D-マルチBL調光時に、適正露出の判断をより精度の高いものに行っています。

[スピードライト]

マルチエリアBL調光

5分割センサーで測光した情報を元に、調光制御を行うBL調光方式。この方式により、撮影画面内に極端に反射率の高いものが存在したり、背景が抜けている撮影状況でも、背景と主要被写体の両方をバランスよく制御して、調光精度を格段に高めています。使用するレンズやスピードライトの種類により、距離信号を使用する3D-マルチBL調光と、使用しないマルチBL調光に分かれます。

3D-マルチBL調光

被写体の状況を把握するためのモニター発光を行い、その被写体からの反射光をTTL5分割センサーで測光し、この測光結果とDタイプレンズから得られる被写体までの距離情報を元に、調光対象領域と調光レベルを決定して調光制御を行うBL調光方式。この調光方式により、背景に金屏風などの高反射物があるシーンや、手前に不要な物体が入ってしまったシーンなどで高い効果を発揮します。

マルチBL調光

スピードライト光をTTL5分割センサーで測光して調光制御を行うBL調光方式で、距離情報が得られないDタイプ以外のレンズ装着時に用いられる方式。内蔵スピードライト使用時にはモニター発光を行いますが、使用する別売りスピードライトの種類によっては、モニター発光を行わない場合があります。

モニター発光

スピードライトが本発光を行う直前に、撮影画面内の状況を事前に把握するためにスピードライトを瞬間的に発光させる機構。この機構によって、より高度なスピードライト調光が可能です。なお、モニター発光は本発光直前のごく短い時間で行われるため、本発光と区別して確認することはできません。

簡易TTL-BL調光

中央部重点測光、またはスポット測光によって背景光の明るさを求め、スピードライトの調光レベルを一律にやや弱めに制御するBL調光。CPUを内蔵していないレンズ装着時はマルチパターン測光が使用できないため、TTL-BL調光に代えて用いられます。

TTL調光

スピードライトの調光レベルを背景光の明るさによらず、常に一定にして制御する機能。背景によっては主要被写体が浮き立って描写される場合があります。

スローシンクロ

スピードライトの撮影テクニックの一種で、夕景や夜景などを背景にした人物撮影などで、背景の状況も写したいときなどに低速シャッタースピードでスピードライト撮影を行うこと。スピードライト撮影では、背景が真っ暗になってしまうことがありますが、このようなとき、背景の明るさに合わせて遅いシャッタースピードで撮影すると、背景も明るく描写できます。このテクニックをスローシンクロといいます。F70Dのシンクロモードをスローシンクロにするとカメラまかせのスローシンクロ撮影が行えます。

先幕シンクロ

後幕シンクロに対することばで、スピードライトを発光させるタイミングが先幕走行終了直後に設定してあるシンクロ機構。通常はこのモードでスピードライト撮影を行います。

後幕シンクロ

スピードライトを発光させるタイミングが、シャッターの閉じる直前に設定されたシンクロ機構。動く被写体をスローシャッターで撮影すると、ブレ画像や光の流れなどが進行方向と逆の方向に現れるため、ごく自然な描写が行えます。先幕シンクロの場合は、進行方向に現れるため、不自然さが生じます。

ガイドナンバー

スピードライトの光量の大きさを示す数値で、単位はGN (ISO100・m) で表記されます。ガイドナンバーから、スピードライト撮影時の設定絞り値や撮影距離が次のように求められます。

ガイドナンバー÷撮影距離＝設定絞り値

ガイドナンバー÷設定絞り値＝撮影距離（発光距離）

調光範囲

自動調光によって適正露出が得られるスピードライト使用時の撮影可能な距離範囲（メートル）を表わす数値が調光範囲です。調光範囲は、設定した絞り値、使用するフィルム感度、撮影距離などによって異なりますので、スピードライト撮影時にはスピードライト光が被写体まで充分にカバーできる調光範囲内で撮影する必要があります。

同調速度

スピードライトの光源が画面全体を一度に照明できる許容範囲となるシャッタースピードのこと。スピードライト使用時にシャッター幕によって画面がケラれない最も高速側のシャッタースピードが最高同調速度となり、これより低速側の速度はすべて同調速度となります。F70Dの場合、高速側の最高同調速度は1/125秒で、これより低速側も同調速度となります。

調光補正

カメラの制御機能と連動して自動的に発光制御されるスピードライトの調光レベルを補正する機能。撮影画面内に白い部分が占める割合が多い場合や、主要被写体が画面中央に位置する場合でも小さいとき、あるいは被写体が画面の端に位置するときなどには、露出アンダーになりやすく、逆の場合には、露出オーバーになりやすいので、露出補正や調光補正が効果的です。

SB（スピードライト）ブラケティング

カメラの制御機能と連動して自動的に発光制御されるスピードライトの調光レベルを基準に、同一カットを設定したステップでマイナスからプラスへと、段階的にスピードライトの調光レベルを変えて自動で何枚か撮影できる自動段階露出機能。

[フィルム]

DXフィルム

DXコードが記載されたフィルム。フィルムのパトローネについているバーコードには、フィルム感度や撮影枚数などの情報があり、DX対応カメラの場合、このバーコードを読み取ってフィルム感度の自動セットなどを可能にしています。

○○○○* ……用語解説に掲載してある用語です。

あ	アイピースキャップ	P.71
	OUTボタン	P.4
	赤目軽減発光	P.48
	赤目軽減スローシンクロ	P.48
	アクセサリシュー	P.4
	アフターサービスと保証について	P.106
後幕シンクロ*	P.49	
い	イメージプログラム*	P.36
	表示	P.6/36
	による撮影	P.58
	イルミネーターの照明について	P.7
	INボタン	P.4
う	裏ぶたロック解除レバー	P.5/26
え	AEブラケットリング*	P.64
	エリア	P.6
	の設定方法	P.64
	の解除方法	P.65
	AEロック*	P.61
	AEロックボタン	P.5/61
	AF（オートフォーカス）	P.42
	AF-C（コンティニューアスAFサーボ）*	P.43
	AF-S（シングルAFサーボ）*	P.43
	AFモードの設定方法	P.42
	SBブラケットリング*	P.83
	エリア	P.6
	の設定方法	P.83
	の解除方法	P.84
	F70dに使用できるレンズについて	P.98
エリア	P.6	
か	ガイドナンバー*	P.80
	外部表示パネル	P.4/6
	各機能のエリア	P.6

	カメラの取り扱いについて.....	P.92
	簡単な（マルチプログラムオートによる）撮影.....	P.28
わ	記念写真モード.....	P.37
	QR（クイックリセット）機能.....	P.50
	のQRナンバー表示.....	P.6
	のQRナンバー.....	P.50
	の記憶させる場合の手順.....	P.50
	の呼び出す場合の手順.....	P.51
	距離信号*.....	P.111
く	クイックリセット機能→QR機能.....	P.50
	クォーツデート.....	P.5/67
	クローズアップモード.....	P.38
ら	ご愛用者カード.....	P.12
	高速連続巻き上げ.....	P.46
	コマンドダイヤル.....	P.5/6/16
	コンティニューアスAFサーボ（AF-C）*.....	P.43
	故障かなと思ったら.....	P.102
せ	最小絞り.....	P.18
	サイレントモード.....	P.46
	先幕シンクロ*.....	P.48
し	CPU内蔵ニッコール.....	P.98
	CPU内蔵ニッコール以外のレンズ.....	P.98
	絞り値表示.....	P.6/7
	絞り優先オート*.....	P.35
	による撮影.....	P.55
	シャッタースピード表示.....	P.6/7
	シャッターボタン.....	P.4
	の半押し.....	P.22
	の半押しタイマー.....	P.22
	の押し方.....	P.22/23

し	シャッター優先オート*	P.35
	による撮影	P.54
	シルエットモード	P.38
	シングルAFサーボ (AF-S) *	P.43
	シンクロモード	P.47
	エリア	P.6
	の設定方法	P.47
す	ストラップ	P.4
	スピードライトロック解除ボタン	P.4/78
	スピードライト推奨マーク	P.7/76
	スポーツモード	P.38
	スポット測光*	P.41
	エリア	P.7
	スポットフォーカスエリア	P.45
	スポットフォーカスフレーム	P.7/45
	3D-8分割マルチパターン測光*	P.108
	3D-マルチBL調光*	P.77
スローシンクロ*	P.49/78	
せ	製品の保証について	P.106
	セットボタン	P.4
	セルフタイマー撮影	P.71
	表示LED	P.4/71
	マーク	P.6
セレクト表示	P.6/36	
そ	操作ボタンとコマンドダイヤルの使い方	P.16
	測光モード	P.40
	エリア	P.6
	表示	P.7
ち	中央部重点測光*	P.41
	エリア	P.7
	長時間露出 [バルブ] 撮影	P.73
	調光範囲	P.80

	調光補正*	P.82
	マーク	P.7/82
	の解除方法	P.82
	の設定方法	P.82
て	DXマーク付きフィルム*を使用する場合	P.24
	DXマーク付き以外のフィルムを使用する場合	P.74
	DXエラー警告表示	P.25
	DタイプAFレンズ (Dタイプレンズ*)	P.41/98
	低速連続巻き上げ	P.46
	データ写し込み (クォーツデート)	P.67
	修正	P.69
電源スイッチ		P.4/21
	電池交換 (クォーツデート用) の手順	P.70
	電池の入れ方	P.20
	容量のチェック方法	P.21
	の取り扱い	P.95
	電池ぶた	P.5
	開閉ノブ	P.5
と	動感モード	P.39
	同調シャッタースピード*	P.77
な	内蔵スピードライト	P.4/75
	使用時に使えるレンズ	P.85/86
に	2ピンターミナル	P.4/101
は	8分割マルチパターン測光	P.41
	バッテリーチェック表示	P.6/21
	パノラマ撮影	P.66
	撮影範囲表示	P.7
	切り換えレバー	P.66
	撮影したフィルムの現像・プリント	P.66
ひ	Psボタン	P.4
	日付や時刻の写し込み	P.67

ひ	1 コマ巻き上げ.....	P.46
	ピント合わせの方法（マニュアルフォーカス）.....	P.44
	ピント表示.....	P.7
ふ	ファインダー接眼窓.....	P.5
	ファインダー内のピント表示.....	P.43
	ファンクションボタン.....	P.4
	ファンクションゾーン.....	P.6
	フィルムカウンター.....	P.6
	確認窓.....	P.5
	感度エリア.....	P.6
	感度の設定方法.....	P.24/74
	感度表示.....	P.6
	給送モード.....	P.46
	在中マーク.....	P.6
	の入れ方.....	P.26
	の巻き戻し方.....	P.31
	巻き戻しボタン.....	P.4
	面の位置.....	P.72
	風景モード.....	P.37
	フォーカスエイドによるピント合わせ.....	P.44
	フォーカスエリア切り換えボタン.....	P.4
	の設定方法.....	P.45
	表示.....	P.6/7
	フォーカスモード.....	P.42
	エリア.....	P.6
	切り換えダイヤル.....	P.3/42
	フォーカスロック.....	P.60
	プログラムシフト®.....	P.62
へ	別売りスピードライト.....	P.88/89/90/97
	別売りアクセサリ.....	P.97
ほ	ポートレートモード.....	P.37
	保証書とご愛用者カード.....	P.12
	ボディキャップ.....	P.4/19







ま	マニュアル（露出）*	P.35
	による撮影	P.56
	マニュアル（フォーカス）	P.44
	マルチプログラムオート撮影	P.28
	マルチパターン測光	P.41
	マルチBL調光	P.77
も	モニター発光*	P.77
	夜景モード	P.39
や	予測駆動フォーカス*	P.43
	リチウム電池	P.20
よ	リモートコントロール	P.101
	レディライト	P.7/76
れ	レンズ取り外しボタン	P.4/19
	の距離リング	P.29/44
	の付け方、外し方	P.18/19
	露出インジケータ	P.7/57
ろ	露出関連の警告表示	P.59
	露出補正*	P.63
	補正值表示	P.6
	の解除方法	P.63
	の設定方法	P.63
	マーク	P.7
	補正量の確認方法	P.63
	露出モード	P.34
	エリア	P.6
	わ	ワイドフォーカスフレーム

仕様




形式	モーター内蔵35mm一眼レフレックス電子制御式フォーカスブレンシャッターオートフォーカスカメラ
露出制御	<p>P：マルチプログラムオート S：シャッター優先オート A：絞り優先オート M：マニュアル</p> <p>Ps：イメージプログラム（8種のイメージプログラムが可能）</p> <p>☑：ポートレートモード ☒：スポーツモード ☔：記念写真モード ☕：シルエットモード ☁：風景モード ☞：夜景モード ☛：クローズアップモード ☜：動感モード</p>
画面サイズ	24X36mm
レンズマウント	ニコンFマウント
交換レンズ	<ul style="list-style-type: none"> ・DタイプAFニッコール：フル機能使用可。 ・Dタイプ以外のAFニッコール（F3AF用を除く）：3D-8分割マルチパターン測光を除く機能使用可。 ・Ai-Pニッコール：3D-8分割マルチパターン測光およびオートフォーカスを除く機能使用可。 ・CPU内蔵ニッコール以外（Ai-S/Ai/シリーズE/改造Ai）のレンズ：露出モードはMモードで可、測光モードは中央部重点測光、スポット測光で使用可能（マルチパターン測光は中央部重点測光へ自動切り換え）、F5.6以上明るいレンズでフォーカスイド可。Ai以外の従来レンズは一部使用不可。
ファインダー	アイレベル式ペンタプリズム使用。
ファインダー スクリーン	・専用B型（マット式、クリアマットスクリーンⅢ、ワイドおよびスポットフォーカスフレーム付、パノラマ撮影範囲フレーム）標準装備。
ファインダー視野率	約92%（対実画面）
ファインダー倍率	約0.77倍（50mmレンズ使用、∞、-1.0DPの時）
ファインダー内表示	ピント表示（合焦、予測駆動合焦、前ピン、合焦不能警告）・予測駆動ピント・FE警告・露出モード・露出値（シャッタースピード、絞り値）・露出警告・露出インジケータ量・フィルムコマ数・露出補正マーク・調光補正マーク・フォーカスフレーム（ワイドフォーカス

ファインダー内表示 [つづき]	フレーム、スポットフォーカスフレーム）・レディライト（充電完了、フル発光時の警告）・スピードライト推奨マーク・パノラマ表示・プログラムシフトマーク。
ミラー	クイックリターン式
レンズ絞り	瞬間復元式。
オートフォーカス	<ul style="list-style-type: none"> ・TTL 位相検出方式、CAM274により検出。 ・シャッターボタンの半押しで作動、合焦前に動いている被写体を検出時は自動的に予測駆動フォーカス制御可能。 ・検出範囲：EV-1～EV19（ISO100、常温）
レンズサーボ	S：シングルAFサーボ、C：コンティニュアスAFサーボ、M：マニュアル
フォーカスエリア	ワイドフォーカスエリアとスポットフォーカスエリアに切り換え可能。
フォーカスロック	シングルAFサーボ（S）時は、シャッターボタンの半押し操作で合焦したとき、シャッターボタンの半押し中は可能。
測光方式	<ul style="list-style-type: none"> ・3D-8分割マルチパターン測光：DタイプAFニッコール装着時。 ・8分割マルチパターン測光：Dタイプ以外のAFニッコール（F3AF用を除く）／Ai-Pニッコール装着時。 ・中央部重点測光（中央部重点度約75%、スクリーン上のφ12相当を測光） ・スポット測光（スクリーン上のφ3相当を測光）
測光範囲	ISO100、F1.4レンズ使用時、EV-1～20、スポット測光時はEV3～20（50mmF1.4レンズ使用時、F1.4で4秒～F16で1/4000秒）。
フィルム感度設定	<ul style="list-style-type: none"> ・DX方式による自動設定およびマニュアル設定（マニュアル設定値優先）の2方式。 ・フィルム感度連動範囲：DX時はISO25～5000、マニュアル設定時はISO6～6400。
半押しタイマー	電源スイッチON後、無操作状態で8秒、または電源スイッチON状態で、シャッターボタンの半押し後シャッターボタンから指を離してから8秒。レリーズ直後は2秒。

露出補正	補正範囲：1/3段ステップで±5段の補正可能。
AEブラケットイング	0.3、0.5、0.7、1.0段のいずれかのステップで、アンダー、適正、オーバーの3コマ撮影可能。
AEロック	AEロックボタンによるBVメモリー方式。
シャッター	電子制御上下走行式フォーカルプレーンシャッター
シャッタースピード	<ul style="list-style-type: none"> ・P.Ps.Aモード時：30秒～1/4000秒（デジタル制御） ・S.Mモード時：buLb.30秒～1/4000秒（1/3段毎のデジタル制御、ただしbuLbはMモード時のみ）
セルフタイマー	電子制御式、作動時間10秒、途中解除可能。
シンクロ接点	<ul style="list-style-type: none"> ・X接点のみ（半導体方式）、1/125秒以下の低速シャッタースピードでスピードライトに同調。 ・スピードライト使用時に、1/4000秒～1/160秒に設定してあるときは1/125秒に自動切り換え（外部表示パネルには設定秒時が点滅）。
内蔵スピードライト	<p>押しボタン操作による手動ポップアップ方式 ガイドナンバー14（ISO100・m、20℃） 照射角28mmレンズの画角をカバー フィルム感度連動範囲ISO25～800（別売りスピードライト使用時も同）</p>
スピードライトの調光方式	<p>TTL自動調光5分割センサー一体型ICによる以下の調光制御</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルチエリアBL調光：内蔵スピードライトおよびSB-27・26・25とDタイプAFニッコールの組み合わせにより3D-マルチBL調光可能。またF3AF用を除くDタイプ以外のAFニッコール/Ai-Pニッコール装着時マルチBL調光可能。 ・簡易TTL-BL調光：CPU内蔵ニッコール以外のレンズとの組み合わせ時は、中央部重点測光またはスポット測光による簡易TTL-BL調光。
シンクロモード	先幕シンクロ、赤目軽減発光、赤目軽減スローシンクロ、スローシンクロ、後幕シンクロの選択可能。
調光補正	補正範囲：1/3段ステップで-3段～+1段の補正可能。
SBブラケットイング	0.3、0.5、0.7、1.0段のいずれかのステップで、アンダー、適正、オーバーの3コマ撮影可能。

スピードライト 推奨マーク	<ul style="list-style-type: none"> ・スピードライト撮影推奨時：緑色点灯
レディライト	<ul style="list-style-type: none"> ・スピードライト充電完了時：赤色点灯（充電時間、最短で約3秒） ・フル発光による露出警告時：赤色点滅
アクセサリシュー	<ul style="list-style-type: none"> ・ホットシュー（フラッシュ接点、モニター接点、TTL自動調光用接点、レディライト用接点付）はCPU連動方式によるスピードライトとの信号送受信にตอบสนองし、各種データ交信を制御。 ・セーフティロック機構付（ロックピン付スピードライト装着時はロック穴に自動挿入にて外れを防止）
フィルム装てん	順巻き式イーザーローディング（フィルムセット完了後、シャッターボタンを押すことによりフィルムカウンター“1”まで自動空送りおよび自動停止）
フィルム巻き上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・内蔵モーターによる自動巻き上げ、（高速連続巻き上げ）、（低速連続巻き上げ）、（サイレントモード）の選択可能（フィルム終端で自動停止、外部表示パネルで確認可能）。 ・巻き上げ速度 <ul style="list-style-type: none"> ：最高約3.7コマ/秒（予測駆動フォーカス時は約3.1コマ/秒） ：最高約2.0コマ/秒 <p>上記データはフォーカスモードM（予測駆動フォーカス時はC）で、露出モードM、シャッタースピード1/250秒以上</p>
撮影可能な フィルム本数	<p>フィルム給送モード、フォーカスモードAf-C、シャッタースピード1/125秒以上、常温20℃でAFニッコール28～70mm/F3.5～4.5Dを装着し1コマ毎に無限から至近間を1往復させて使用した場合。[]内はスピードライトを50%発光させた場合。</p> <p>36枚撮り：常温（20℃）時、約115本 [25本]、低温（-10℃）時、約80本 [20本] 24枚撮り：常温（20℃）時、約150本 [30本]、低温（-10℃）時、約100本 [25本]</p>
フィルムカウンター	液晶によるデジタル表示、順算式、巻き戻し時は逆算による連動
フィルム巻き戻し	2つの巻き戻しボタンの同時操作によりモーターで自動巻き戻し36EX約12秒、24EX約9秒 サイレントモード時は36EX約22秒、24EX約18秒
外部表示パネル情報	液晶表示により以下の内容を表示 露出値（シャッタースピード、絞り値）・露出モード・測光モード・フォーカスエリア・フォーカスモード・シンクロモード・フィルム感度・

仕様—つづき—

外部表示パネル情報 [つづき]	露出／調光補正マーク・露出／調光補正量・AE/SBブラケティングマーク・AE/SBブラケティング補正量・フィルムカウンター・FEE・フィルム給送モード・フィルム在中マーク・セルフタイマーマーク・フィルム給送・電池容量チェック・QRナンバー・プログラムシフトマーク
クォーツデート	<ul style="list-style-type: none"> ・液晶表示によるクォーツデジタルウォッチ内蔵（時計精度月差±90秒以内） ・フィルム感度連動範囲：ISO32～3200（DX方式による自動設定） ・データ（年月日・日時分・月日年・日月年・写し込み解除）、月末、うるう年自動修正（2019年12月31日まで対応） ・使用電池：3Vコイン型リチウム電池（CR2025タイプ）1個使用。電池寿命3年。ただしデータ写し込み回数、作動条件等により異なる。
裏ぶた	・蝶番式（取り外し可能）、フィルム確認窓付き。
リモートコントロール	2ピンターミナルのリモートコネクタにより可能。
使用電池	・リチウム電池2本（CR123Aタイプ）使用
電源スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ・“OFF” “ON” による切り換え式。 ・“ON” で電源ON、シャッターボタンの半押しでAF駆動（半押しスイッチ付）。
電池容量チェック	<p>半押しタイマーON状態のとき、外部表示パネルに電池容量のチェック表示を以下の3段階で表示。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表示点灯：電池容量充分 ・表示点滅：電池消耗 ・表示点滅：電池交換（表示消灯時も電池交換）
バノラマ対応	外部切り換え式によるバノラマサイズと標準サイズ
三脚ネジ穴	1/4インチ（JIS規格）
大きさ	約151（幅）X103（高さ）X71（奥行き）mm
重量	約600g（電池を除く）

*仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、すべて常温（20℃）、新品電池使用時のものです。

仕様、外観の一部を、改善のため予告なしに変更することがあります。

ニコン サービス機関 一覧